

MITSUBISHI

sRGB

三菱液晶プロジェクター

形名

LVP-XL5950

LVP-XL5900

取扱説明書

LCD
PROJECTOR



はじめに

映像を見る

設定・調整する

その他

このたびは三菱液晶プロジェクターをお買い上げいただきありがとうございました。

ご使用前に、正しく安全にお使いいただくため、この取扱説明書を必ずお読みください。

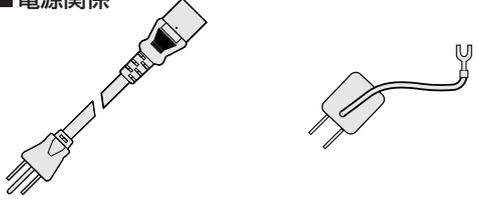
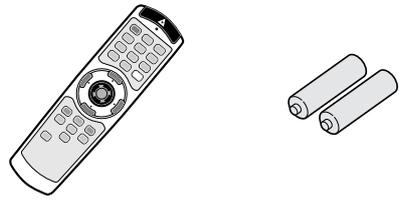
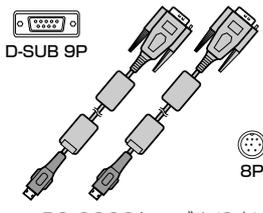
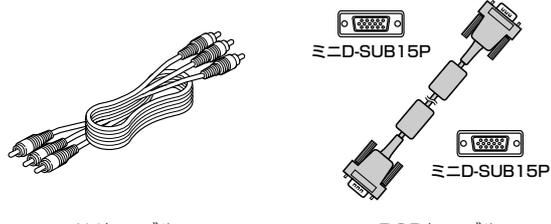
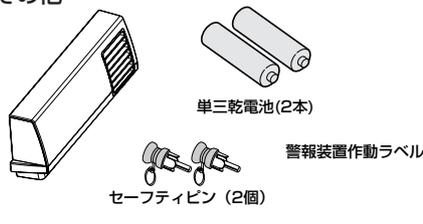
お読みになったあとは、保証書と共に大切に保管し、必要なときお読みください。

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめの上、お買い上げの販売店からお受け取りください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

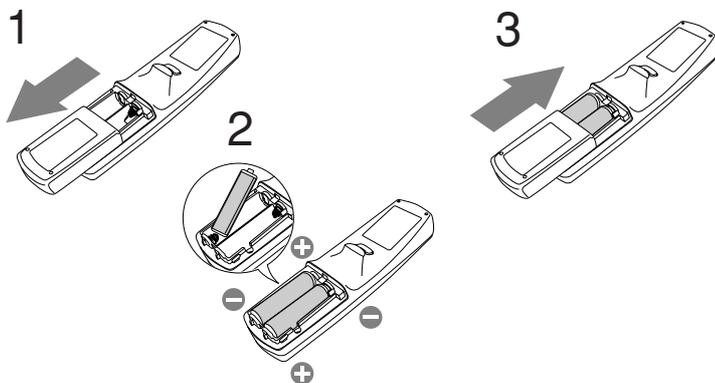
付属品を確認する・リモコンに乾電池を入れる

付属品を確認する (このプロジェクターには次の付属品があります。そろっているかどうか確認してください。)

<p>■ 電源関係</p>  <p>電源コード 変換アダプタ</p>	<p>■ リモコン関係</p>  <p>リモコン 単三乾電池(2本)</p>
<p>■ パソコン制御/マウス関係</p>  <p>D-SUB 9P RS-232Cケーブル(2本) 8P</p>	<p>■ 映像(音声)関係</p>  <p>AVケーブル ミニD-SUB 15P ミニD-SUB 15P</p>
<p>■ その他</p>  <p>ターミナルカバー (盗難警報装置付) 単三乾電池(2本) 警報装置作動ラベル セーフティピン (2個)</p> <ul style="list-style-type: none"> 取扱説明書 保証書 三菱DIAMOND VIEW CLUBご案内 フィルター 	

- 付属の電源コード、変換アダプタは、本製品専用です。決して他の製品には使用しないでください。

リモコンに乾電池を入れる



- 1 リモコン裏面のフタをはずす
- 2 乾電池の(+), (-)をよく確かめて、(-)側から正しく入れる
 - 乾電池を(+)側から入れると、(-)側へ入れるときにコイルパネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れて、ショートして発熱する恐れがあります。
- 3 裏面のフタを付ける
 - 乾電池は、単三乾電池を2本お使いください。
 - リモコンを使用できる距離が短くなってきたら、2本とも新しい乾電池に交換してください。

⚠ 注意

- 乾電池は、7ページに記載している「乾電池の取り扱いについて」を良く読んで、正しくお使いください。使用を誤ると液もれや発熱、破裂により、火災やけが、周囲の汚損の原因となることがあります。(乾電池に表示されている注意事項もお読みください。)
- このプロジェクターはプラグ接続機器です。機器の近傍にコンセントがあり、かつそのコンセントには、容易にアクセスできなければなりません。
- 本機には付属の指定電源コードをご使用ください。指定外の電源コードを使用すると、ラジオやテレビの放送電波障害の原因となることがあります。
- J55022 クラス A装置の規制範囲内に干渉を抑えるため、付属のRGBケーブルとRS-232Cケーブルをご使用ください。
- J55022 クラス A装置の規制範囲内に干渉を抑えるため、D-SUB/5 BNCケーブルは、シールドケーブルをご使用ください。
- 本機は必ず接地してください。

この製品はクラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

もくじ

はじめに	安全のために必ずお守りください 4~7 各部のなまえ 8,9 本体のなまえ 8,9 リモコンのなまえ 9 リモコンの使いかた 10
映像を見る	コンピュータの映像を見る 11~14 A. コンピュータと接続する 11 B. 電源コードを差込む 12 C. 投写する 12~14 プレゼンテーションを演出する 15~18 1. リモコンをレーザーポインタとして使う 15 2. リモコンをコンピュータのマウスとして使う(マウスリモコン) .. 15,16 3. 映像と音声を一時的に消す(AVミュート) 16 4. 画面を拡大して見る(EXPAND) 17 5. コンピュータとビデオ映像を同時に見る(PinP) 18 ビデオ機器の映像を見る 19,20 A. ビデオ機器と接続する 19 B. 電源コードを差込む 19 C. 投写する 20
設定・調整する	メニューを使って設定する 21~23 メニュー遷移図 21 メニュー設定のしかた 21 メニューで設定できること 22,23 映像を調整する 24~26 映像の明るさを調整する(コントラスト、ブライト) 24 元の色を忠実に再現する(sRGB) 24 色ごとの色合いを調整する(カラーマトリクス) 24 白の色合いを調整する(色温度の詳細設定) 25 色を調整する(色の濃さ、色合い) 25 映像をくっきりさせたり、ソフトにする(シャープネス) 25 コンピュータ映像の調整 26 信号メニューの設定記録について 26
その他	お掃除のしかた 27 光源ランプを交換する 28,29 故障かなと思ったら 30,31 設置工事を依頼するときは 32 ターミナルカバー(盗難警報装置付)について 33 索引 34 仕様 35,36 別売品 35 端子について 35 接続できる信号の種類 36 保証とアフターサービス 37 インジケータの見かた 裏表紙

はじめに

映像を見る

設定・調整する

その他

付も
属く
じ
品を
コン
を確
認す
る
乾電
池を
入れ
る

著作権について

- 本書に記載のメーカー名および商品名は、各社の商標または登録商標です。
- アスペクト比の切り換えについて
 - ・ 本機はアスペクト比切り換え機能(20ページ)を備えていますが、入力信号と異なるアスペクト比を選択されると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えます。制作者の意図を尊重したオリジナルな映像は、元の入力信号と同じアスペクト比でご覧ください。
 - ・ 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、店内外、ホテルなどにおいて、アスペクト比切り換え(16:9)を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどを行いますと、著作権法上で保護されている著作権の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。

安全のために必ずお守りください

■ 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性があるもの	 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
---	---	---	-------------------------------------

■ 図記号の意味は次のとおりです。

 絶対に行わないでください	 絶対に分解・修理はしないでください	 絶対に触れないでください	 絶対に水にぬらさないでください
 絶対にぬれた手で触れないでください	 絶対に水場では使用しないでください	 必ず指示に従い、行ってください	 必ず電源プラグをコンセントから抜いてください

警告

故障したまま使用しない

万一異常が発生したときは、電源プラグをすぐ抜く!!

異常のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。



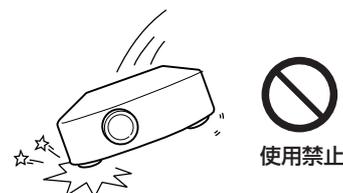
プラグを抜く

煙が出ている、変なおいがするなど、異常なときは、電源プラグをすぐ抜く!!



異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。すぐに電源を切ったあと電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認してから、三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

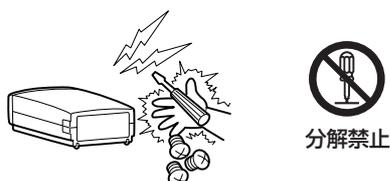
落としたり、キャビネットを破損した場合は使わない



火災や感電の原因となります。

次のようなことはしない

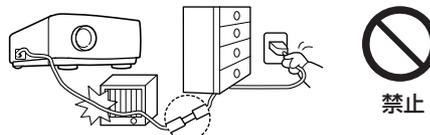
キャビネットをはずしたり、改造しない



内部には電圧の高い部分があり、さわると感電の原因となります。また、改造すると、ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

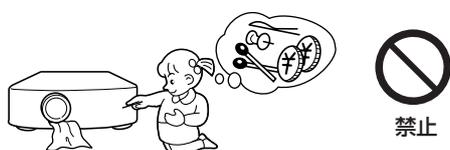
電源コードを傷つけない

- 重いものをのせない
- 引っ張らない
- ねじらない
- 無理に曲げない
- 加熱しない
- 加工しない
- じゅうたんなどの下にひかない



コードに傷がつくと、火災や感電、故障の原因となります。電源コードの芯線が露出したり断線するなど、コードが傷んだときは、すぐに三菱電機テクニカルサポートセンターに修理をご依頼ください。

内部に異物を入れない



金属類や燃えやすいものが入ると火災や感電の原因となります。

花瓶やコップ、植木鉢、小さな金属物などを上に置かない

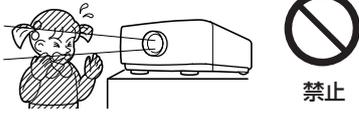


内部に水や異物が入ると、火災や感電の原因となります。

警告

次のようなことはしない(つづき)

レンズをのぞかない



光源ランプの点灯中は、レンズをのぞかないでください。強い光によって視力障害などのけがの原因となります。

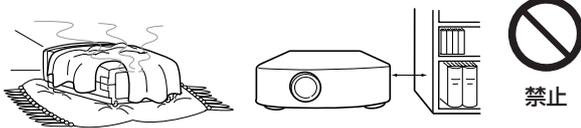
レーザー光をのぞかない



レーザー光が目に入ると失明の原因となることがあります。

吸気口、排気口をふさがない

- 風通しの悪い狭い場所に置かない (壁から50cm以上離す)
- じゅうたんや布団の上に置かない
- テーブルクロスなどをかけない
- 排気口付近に燃えやすい物を置かない



吸気口や排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない



感電の原因となります。

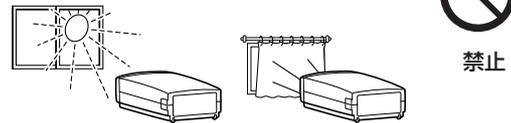
次のような場所に置かない

不安定な場所には置かない



ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因となります。

直射日光の当たる場所に置かない レンズを太陽に向けたり、レンズの直前に物を置かない



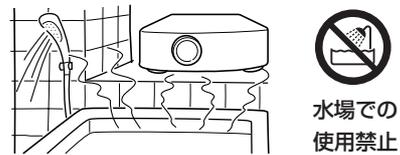
火災や故障の原因となります。

ソファ、椅子などの上に置かない



吸気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

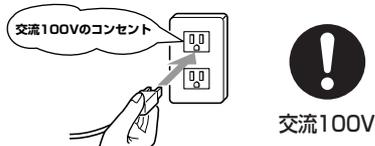
風呂場では使わない



火災や感電の原因となります。

その他

正しい電源電圧で使う



交流100V以外の電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

使用した直後、光源ランプの交換はしない

使用した直後、光源ランプは高温になっていますので、交換作業はしないでください。さわるとやけどの原因となります。



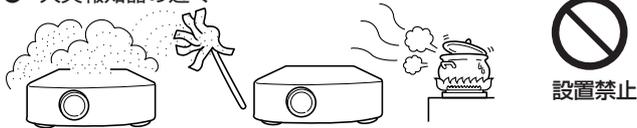
安全のために必ずお守りください(つづき)

⚠ 注意

次のような場所には置かない

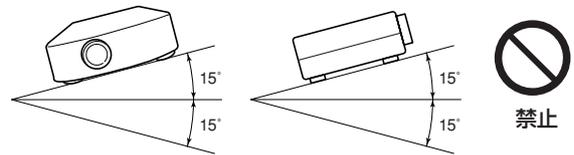
設置時は、次のような場所には置かない

- 押し入れや本棚など、風通しの悪い場所
- 閉めきった自動車内など、高温になる場所
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所
- 熱器具の近く
- 直射日光の当たる場所
- 火災報知器の近く
- 湿気やほこりの多い場所
- 油煙や湯気が当たる場所



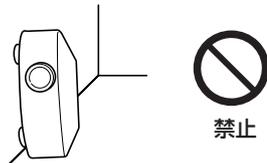
設置禁止

傾けた状態で動作させない



傾けた状態で動作させるとランプの故障や破裂の原因となります。左右方向に対して±15°、前後方向に対して±15°を越えて傾けた状態で動作させないでください。

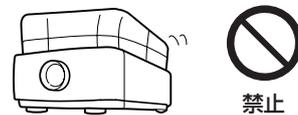
立てた状態で置かない



禁止

倒れて、けがや故障の原因となります。

重いものを置かない、踏み台にしない



禁止

本体がこわれることがあります。また、バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

電源コード・プラグについて

接続したまま移動させない



禁止

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。電源コードや接続コードをはずしたことを確認してから移動させてください。

電源プラグのほこりなどは定期的に取り、差し込みの具合を点検する

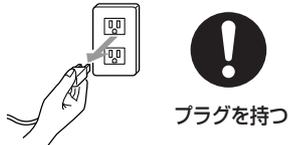


ほこりを取る

ほこりなどがついたり、コンセントへの差し込みが不完全な場合は、火災や感電の原因となることがあります。

1年に1回はプラグとコンセントの定期的な清掃をし、最後までしっかり差し込まれているか点検してください。

電源プラグを持って抜く



プラグを持つ

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

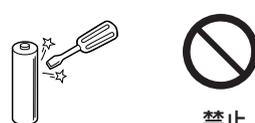
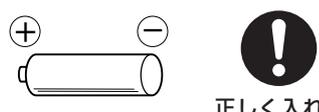
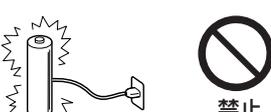


ぬれ手禁止

感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

乾電池の取り扱いについて

<p>新しい乾電池と古い乾電池や、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない。</p>  <p>禁止</p>	<p>分解したり、ショートさせたり、火の中に投入しない。</p>  <p>禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 乾電池は、(－)側から入れる。乾電池を(＋)側から入れると、(－)側へ入れるときにコイルバネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れて、ショートして発熱する恐れがあります。 ● 使いきった乾電池は、すぐに取り出す。 ● 乾電池の溶液が皮膚や衣服に付着したときは、きれいな水で洗い流す。また、眼に入ったときは、きれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受ける。
<p>プラス(＋)とマイナス(－)の向きを正しく入れる。</p>  <p>正しく入れる</p>	<p>乾電池を充電しない。充電式の電池は使用しない。</p>  <p>禁止</p>	

その他

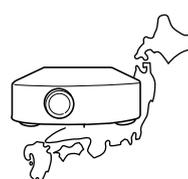
1年に一度は内部の掃除を依頼する



内部掃除

三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。ほこり、油煙、けむり等により内部に汚れが付着したまま長い間掃除をしないと、火災や故障および、光学部品の汚れによる輝度劣化の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うのが効果的です。内部掃除費用については、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

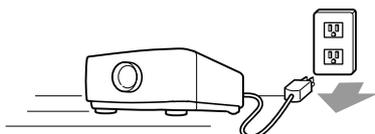
この液晶プロジェクターは日本国内専用です



日本専用

電源電圧の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This LCD projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

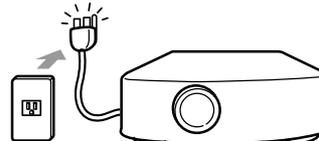
ご使用が終わったときは、電源プラグをコンセントから抜いておく



プラグを抜く

電源ボタンで電源を切り、光源ランプを消灯したスタンバイ(待機状態)にします。約2分間待ったあと、主電源スイッチを切り、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。スタンバイにして約2分間待つのは、光源ランプと液晶パネルを冷やすために吸、排気ファンが回っているからです。使用後すぐに主電源スイッチを切ったり、電源プラグをコンセントから抜くと故障の原因となることがあります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行う



プラグを抜く

安全のため、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

1か月に一度はフィルターの掃除をする

フィルターのお手入れはこまめにおこなってください。吸気口のフィルターにほこりがたまると本体内部の温度が異常に高くなり、内部部品を傷めたり、パネルの寿命に影響を与えるなどして、故障の原因となることがあります。くわしくは27ページをご覧ください。



フィルター掃除

排気口、底板は熱くなりますので触れないこと

やけどや他の機器への損害を与える原因となりますので、さわったり、排気口の近くに他の機器を設置したりしないでください。また、熱に弱い机の上などに置かないでください。



接触禁止

製品使用中は排気口をのぞき込まない

排気口から温風、ゴミなどが吹き出すため、目をいためることがあります。

レンズと意匠の隙間に指などを入れない

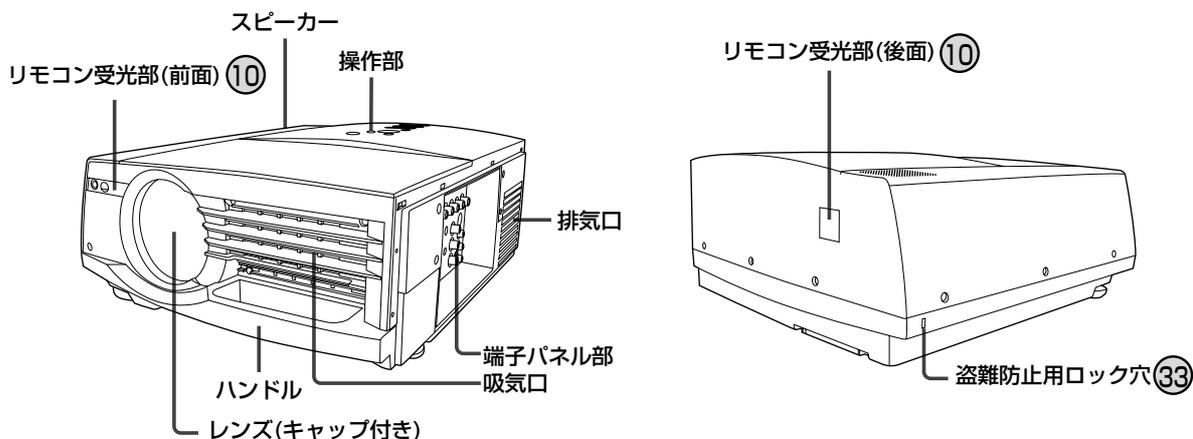
レンズが動くとかげや故障の原因となります。



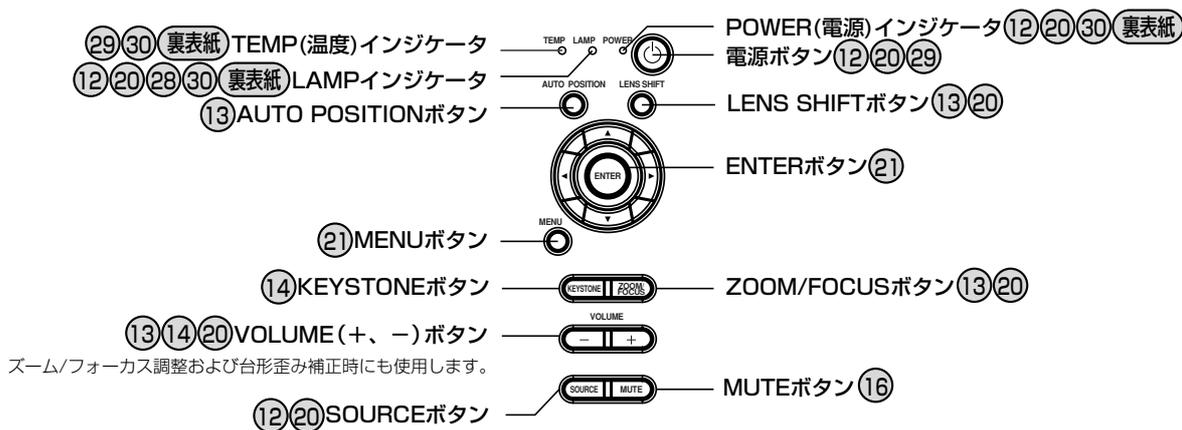
ケガに注意

各部のなまえ

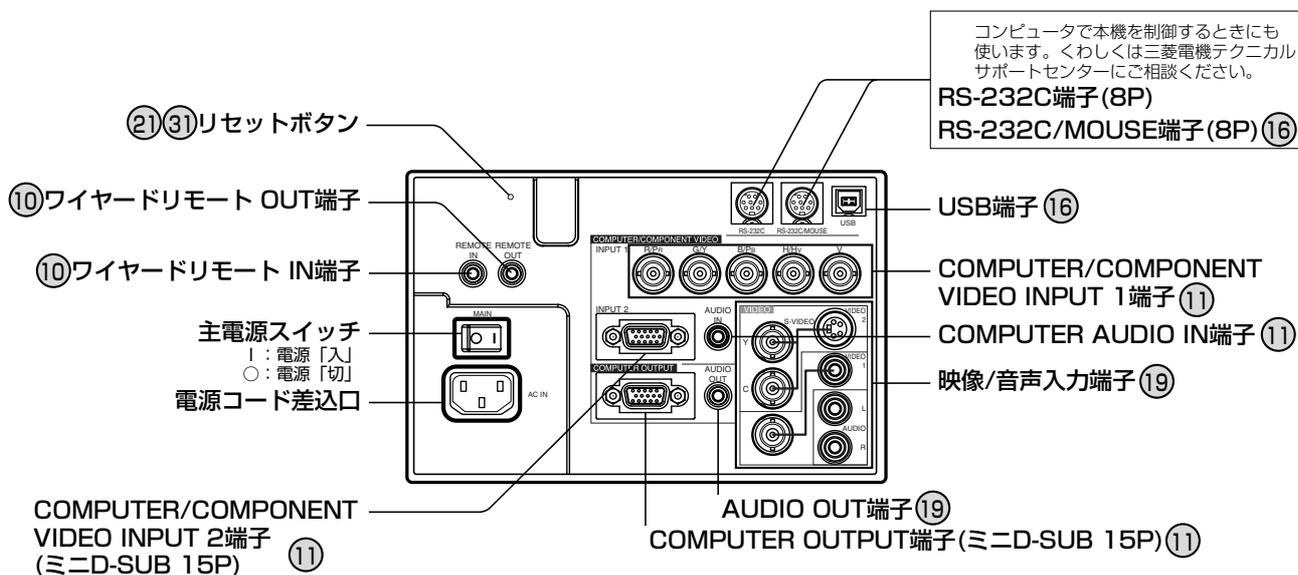
本体のなまえ (○は参照ページです。)



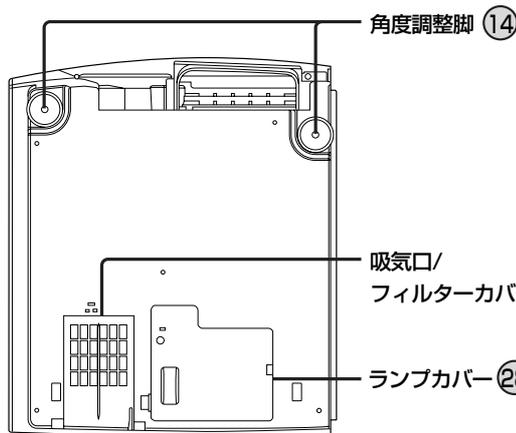
操作部(天面)



端子パネル部(右側面)



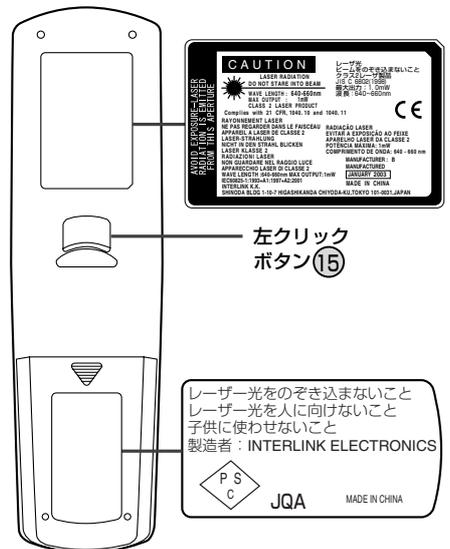
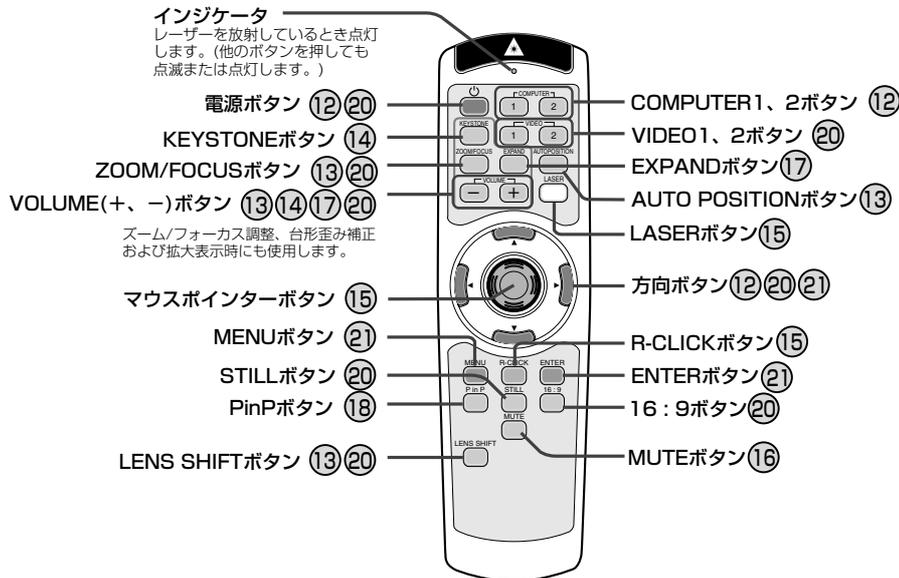
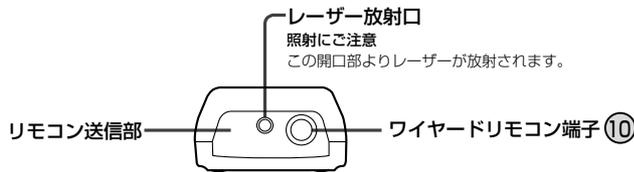
底面部



警告

使用した直後、光源ランプは高温になっていますので交換作業はしないでください。さわるとやけどの原因となります。

リモコンのなまえ (○は参照ページです。)



警告

付属のリモコンは、LASERボタンを押すとレーザー光を發します。

以下の事項を必ずお守りください。

- レーザー光をのぞき込まないこと。
- レーザー光を人に向けないこと。
- 子供に使わせないこと。

レーザー光が目に入ると失明の原因となることがあります。

ご使用になる前にリモコンの注意表示をよくお読みになり、必ずお守りください。

レーザー光について

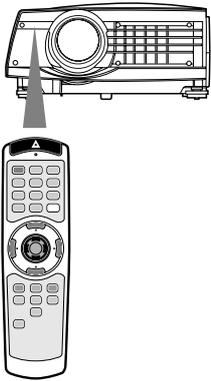
このリモコンはクラス2(最大出力: 1.0mW、レーザー光の波長: 640~660nm)レーザー製品です。

ビームの広がり: 6mの位置で 10mm × 10mm (±6mm)。

- ここに規定した以外の手順による制御や調整は、危険なレーザー放射の被ばくをもたらします。

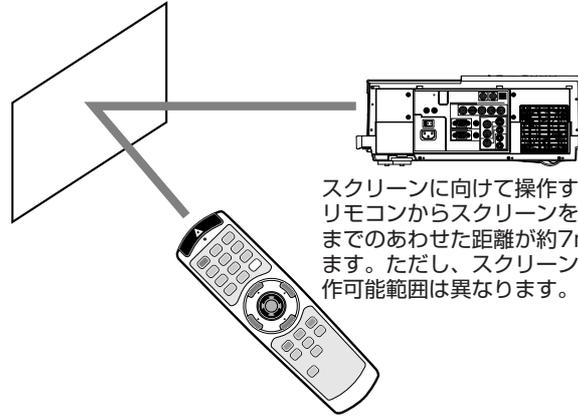
リモコンの使いかた

ワイヤレスリモコンとして使う



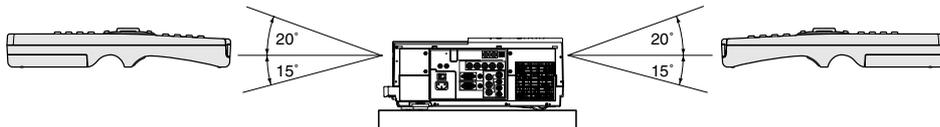
本体のリモコン受光部(前面または後面)に向け、正面で約10m以内のところで操作します。

- リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらないようにしてください。
- リモコン受光部と蛍光灯は2m以上離してください。リモコンが誤動作することがあります。
- インバータ方式の蛍光灯が近くにある場合、リモコンが効きにくくなる場合があります。

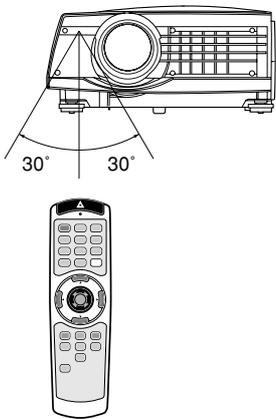


スクリーンに向けて操作する場合は、リモコンからスクリーンを通して本機までのあわせた距離が約7m以内になります。ただし、スクリーンによって操作可能範囲は異なります。

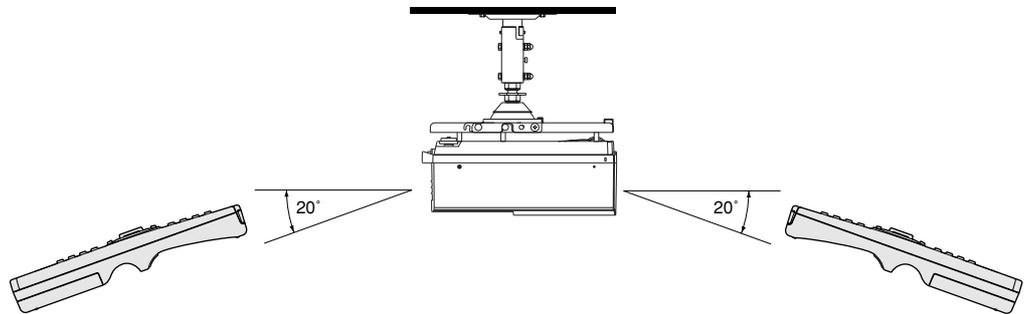
操作範囲 上下方向



左右方向



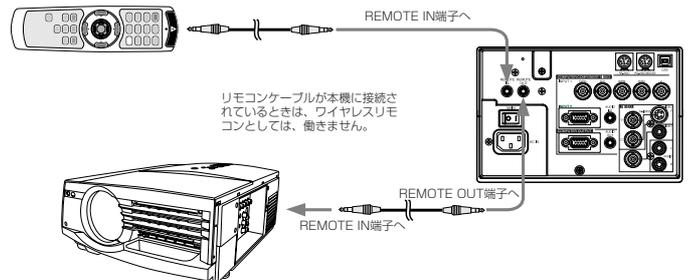
上下方向(天吊り時)



ワイヤードリモコンとして使う

本機に付属のリモコンは、リモコンケーブルを接続することにより、ワイヤードリモコンとしても使えますので、操作距離が離れていたり、操作範囲からはずれていても確実に遠隔操作することができます。

- 接続には、市販のφ3.5 ステレオタイプピンケーブルをご使用ください。ただし、ケーブルによっては正しくはたらないことがあります。
- ワイヤードリモコンとしてご使用の場合、レーザー光が暗くなる場合がありますが、故障ではありません。
- 本機のREMOTE OUT端子ともう1台のプロジェクトのREMOTE IN端子をピンケーブルで接続すると、2台同時に操作することができます。(3台以上接続すると正しくはたらないことがあります。)



リモコンケーブルが本機に接続されているときは、ワイヤレスリモコンとしては、働きません。

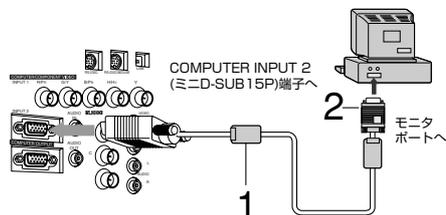
コンピュータの映像を見る

A. コンピュータと接続する

準備

- プロジェクターおよびコンピュータの電源が切れていることを確認する
- デスクトップタイプの場合、モニタに接続されているRGBケーブルをはずす

アナログRGB(ミニD-SUB 15P)端子付きコンピュータとの接続



1. 付属のRGBケーブルを本機のCOMPUTER INPUT 2端子に接続する
2. コンピュータのモニタポートにRGBケーブルのもう一方を接続する

- 接続するコンピュータの機種によっては、変換コネクタやアナログRGB出力アダプタなどが必要な場合があります。
- 付属のRGBケーブル以外の長いケーブルを使用すると画質劣化することがあります。
- 本機のCOMPUTER/COMPONENT VIDEO INPUT 2端子はDDC1/2Bに対応しています。この規格に対応したコンピュータと接続した場合、コンピュータが自動的に本機の情報を読み出し、適切な映像を出力するように設定されます。
 - DDC対応のコンピュータと接続している場合、本機の主電源スイッチを入れてからコンピュータを起動してください。
 - コンピュータによっては、DDCドライバのインストールが必要な場合があります。DDCドライバはインターネットホームページ(www.MitsubishiElectric.co.jp/projector/business)よりダウンロードしてください。

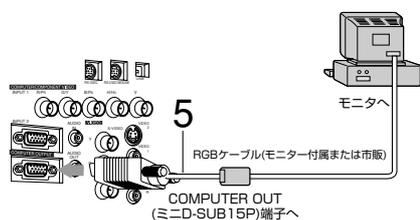
コンピュータの音声をプロジェクターから出すときは



3. PC音声ケーブル(市販)を本機のAUDIO IN端子に接続する
4. PC音声ケーブルのもう一方をコンピュータの音声出力端子に接続する

- 本機の音声入力端子は、ステレオミニジャックです。(ただし、スピーカー出力はモノラルになります。)接続するコンピュータの音声出力端子の形状にあわせてケーブルをお買い求めください。

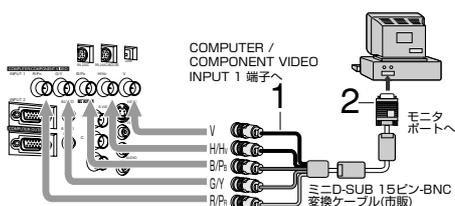
プロジェクターの投写映像をモニタで見るときは(デスクトップのみ)



5. モニタに接続されているRGBケーブルを本機のCOMPUTER OUTPUT端子に接続する

- 接続するケーブルによっては画質劣化することがあります。

COMPUTER/COMPONENT VIDEO INPUT 1 (5BNC)端子を使用する場合、上記1、2の代わりに以下の接続(操作)をします。



1. 市販のミニD-SUB 15ピン-BNC変換ケーブルを本機のCOMPUTER/COMPONENT VIDEO INPUT 1端子(5ヶ所)に接続する
2. コンピュータのモニタOUT端子(ミニD-SUB 15ピン)にミニD-SUB 15ピン-BNC変換ケーブルのもう一方を接続する

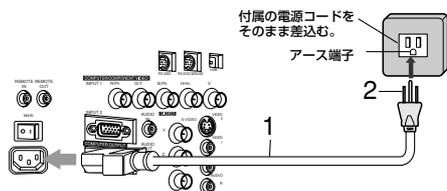
- 付属のターミナルカバーを取り付けると配線がすっきりします。(取り付け方は33ページ参照)
- 接続するコンピュータによっては使用するケーブルが異なることがあります。

- 接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 接続について、くわしくは三菱電機テクニカルサポートセンターにお問い合わせください。

コンピュータの映像を見る(つづき)

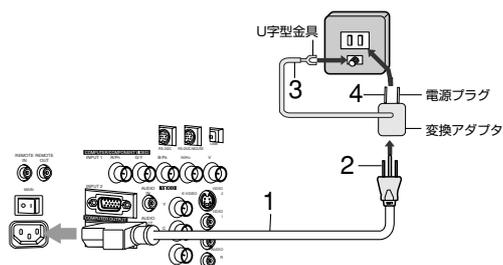
B. 電源コードを差込む

電源コンセントにアース端子の差込み口が付いている場合



1. 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する
2. 電源コードのもう一方を電源コンセントに差し込む

電源コンセントにアース端子の差込み口が付いていない場合

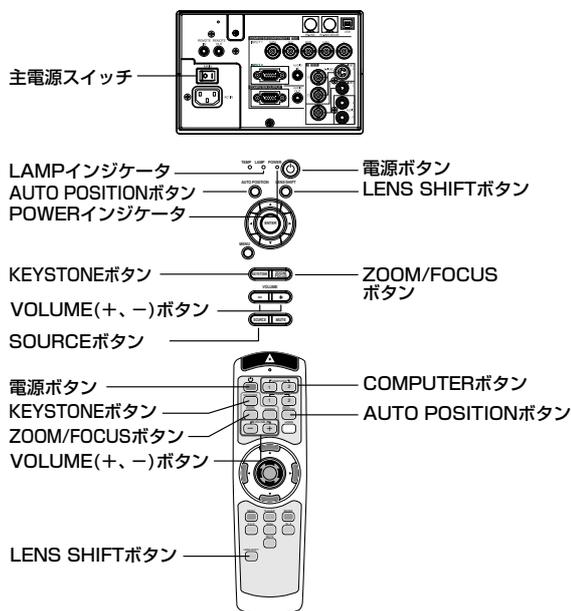


1. 付属の電源コードを本機の電源コード差込口に接続する
2. 電源コードのもう一方に付属の変換アダプタを取り付ける
3. 変換アダプタのU字型金具を電源コンセントのアース端子に接続する
 - 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。又、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行って下さい。
 - 電源コンセントにアース端子がない場合は、アース工事を販売店にご依頼ください。(有料)
4. 電源プラグを電源コンセントに差し込む
 - 本機の電源は、必ずアース付き交流100Vのコンセントを使用してください。
 - 変換アダプタのアースをガス管・水道管・避雷針などへ絶対に取付けないでください。

C. 投写する

準備

- レンズキャップをははずす
- コンピュータの電源を入れる

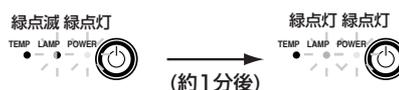


電源を入れる

1. 主電源スイッチを入れる

- 主電源スイッチを入れると、POWERインジケータが赤色に点灯します。
- 前回の使用後に冷却が不完全な状態で終了された場合、主電源を入れた後ファンが回転し、電源ボタンを受けつけないことがあります。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。

2. 電源ボタン(●)を押す



電源「切」の操作はできません。

- ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。
- まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。
- 電源ボタンを押したあと、または、ランプモードが切替わったあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは、電源を入れたときは「標準」モードで起動します。「低」モードに設定している場合は、約2分間で「低」モードに切り替わります。

ピントを調整する

3. ZOOM/FOCUSボタンを押して画面に「フォーカス」を表示させる
4. VOLUME(+または-)ボタンを押してピントを調整する

入力を切替える

5. リモコンのCOMPUTER1、2ボタンまたは本体のSOURCEボタンを押す
 - SOURCEボタンを押すごとに「COMPUTER1」→「COMPUTER2」→「VIDEO1」→「VIDEO2」→「COMPUTER1」と切り替わります。
 - ノートタイプのコンピュータの場合、コンピュータ側の設定を変更しないと映像が投写されない場合があります。くわしくは次のページをご覧ください。
 - 画面がちらつくときは、◀または▶ボタンを押してちらつきを無くしてください。

設置する

6. 所定の画面サイズが得られる様に投写距離を調整して設置する

7. 本機とスクリーンが垂直になる様に設置する

- 下の図を目安にして設置してください。
- 本機とスクリーンが垂直にならない場合は、角度調整を行ってください。(14ページ参照)

8. ZOOM/FOCUSボタンを押して画面に「ズーム」を表示させる

9. VOLUME(+または-)ボタンを押して、投写画面サイズに合わせる

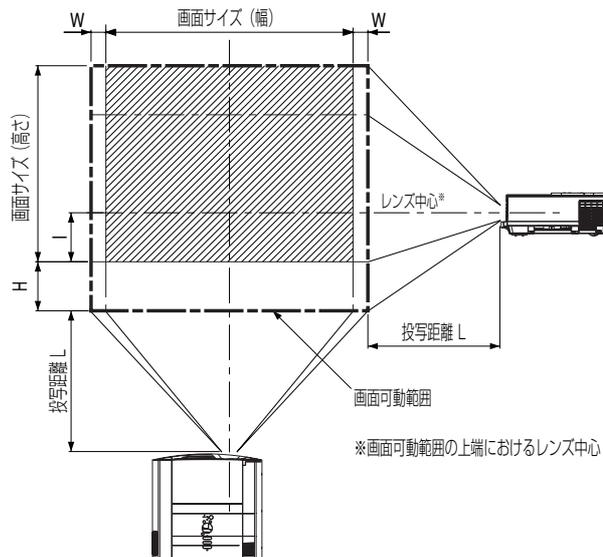
- 下の表を目安にして設置してください。

10. LENS SHIFTボタンを押して画面に「枠縁」および「レンズシフト」を表示させる

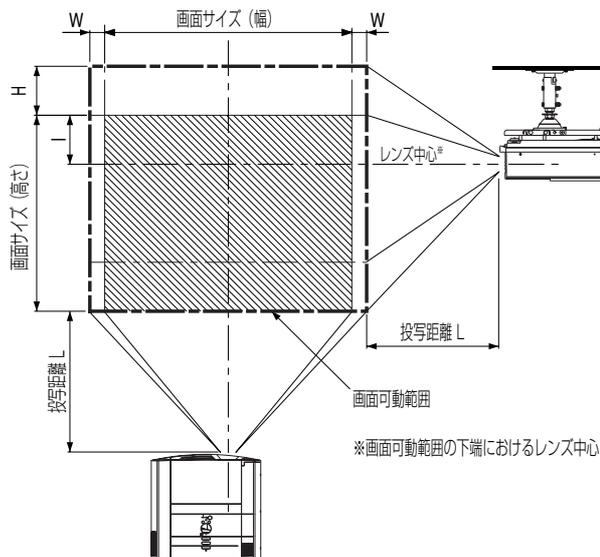
11. ▲または▼ボタンを押して高さ方向、◀または▶ボタンを押して幅方向を調整し画面位置を合わせる

- 矢印ボタンを2秒間以上連続して押し続けると移動速度が早くなります。ただし可動範囲端に近い場合は、移動速度は遅くなります。
- 可動範囲端では画面の「枠縁」が黄色表示され、それ以上動かすことはできません。
- 投写画面を下図の画面可動範囲の上端(天吊りの場合は下端)および左右付近に設定した場合、画面の歪みが大きくなったり、解像度や明るさが低下することがあります。

【床置き時】



【天吊り時】



標準レンズ使用時

画面サイズ (型)	画面サイズ		投写距離L		レンズシフト高さ:H		レンズシフト幅(W) (cm)
	幅(cm)	高さ(cm)	最短(m)	最長(m)	基準I(cm)	移動量H(cm)	
60	122	91	2.3	2.9	4.6	42.0	6.2
80	163	122	3.0	3.9	6.1	55.8	8.3
100	203	152	3.8	4.9	7.6	69.5	10.3
150	305	229	5.8	7.3	11.4	103.8	15.4
200	406	305	7.7	9.8	15.2	138.1	20.5
250	508	381	9.7	12.3	19.1	172.4	25.5
300	610	457	11.6	-	22.9	206.6	30.6

- 表示値は、実際とは数%誤差が生じることがあります。

必要に応じて、上記3~11の設定は微調してください。

音量を調整する

12. VOLUME(+または-)ボタンを押して音量を調整する

- メニューが表示されているときは、VOLUMEボタンははたらきません。

ノートタイプの場合

ノートタイプのコンピュータと接続した場合、映像が投写されない場合があります。そのときは、コンピュータの信号を外部に出力させる設定をおこなってください。設定のしかたは、コンピュータによって異なりますので、コンピュータの取扱説明書をご覧ください。

外部出力させる操作の例

「Fn」キー+「F1」～「F12」キーのいずれか(機種によって異なります)を押す

AUTO POSITIONボタンについて

コンピュータの映像がずれるときは以下の操作を行ってください。

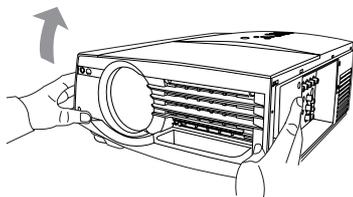
1. できるだけ明るい画面(ゴミ箱などのウィンドウを全画面表示にするなど)にする。
 2. スクリーンセーバーがはたらいているときは、スクリーンセーバーを解除する。
 3. AUTO POSITIONボタンを押す。
入力信号に最適な設定になるように自動調整が行われます。
- 数回、AUTO POSITIONボタンを押してもまだずれる場合は、詳細設定メニューで設定を変更して画面の位置を合わせてください(26ページ参照)。

コンピュータの映像を見る(つづき)

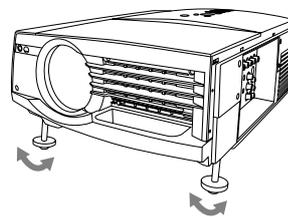
投写角度を調整する

投写した映像がスクリーンからはみだすときは、高さを調整するかまたは投写角度を以下のようにして調整してください。

1 本体を投写させたい角度まで持ち上げる



2 角度調整脚を左右に回して画面が平行になるように微調整する



- 傾き角を15°以内に設置してください。
(角度調整脚のみによる角度調整角は、最大7°になります。)

画面が台形に歪むときは

スクリーンと本機が直角になっていないと、画面が台形になります。本機およびスクリーンを調整しても直角にならないときは、本体またはリモコンのKEYSTONEボタンを押して「台形補正」を表示させてから、VOLUME(+または-)ボタンを押して、画面の上下の幅をそろえてください。

- キーストン調整時には調整値が表示されますが、投写角度とは異なります。
- 調整時に表示される調整値は、設置状態により調整範囲が異なります。
- 本体とスクリーンの設置条件によっては、正しく長方形にならない場合や、アスペクト比が4:3にならない場合があります。
- オプションレンズ使用時、「台形補正」をかけると、画面のアスペクト比が4:3にならない場合があります。
- 「台形補正」をかけると、解像度が低下します。また、細かい模様の映像での縞の発生、直線の折れ曲がり等の現象が見られますが、故障ではありません。

電源を切る

以下のようにして電源を切ってください。主電源スイッチや電源プラグを抜いて電源を切った場合、ランプ性能の劣化や本体故障の原因となることがあります。

13. 電源ボタン(⏻)を押す

「電源オフ時は再度電源ボタンを押してください」のメッセージが表示されます。

- この状態を解除するには、電源ボタン(⏻)以外のボタンを押してください。

14. 電源ボタン(⏻)をもういちど押す

光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、LAMPインジケータが点滅します。

15. LAMPインジケータの緑点滅が消えるまで、約2分間そのまま待つ

- スタンバイ状態で約2分間待つのは、光源ランプと液晶パネルを冷やすために、吸、排気ファンが回っているからです。
- LAMPインジケータが点滅中は主電源スイッチを切らないでください。使用後すぐに主電源スイッチを切ると故障の原因となることがあります。

16. 主電源スイッチを切る

POWERインジケータが消灯します。

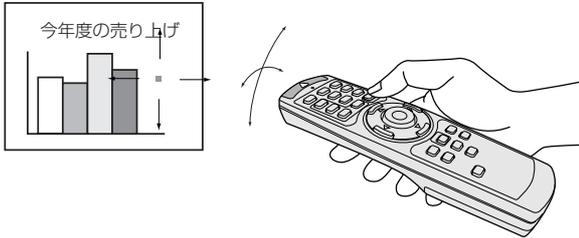
- 安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プレゼンテーションを演出する

プレゼンテーションを行う上で、便利な使い方を紹介します。

1. リモコンをレーザーポインタとして使う

注目させるポイントを赤い点で指し示すことができます。

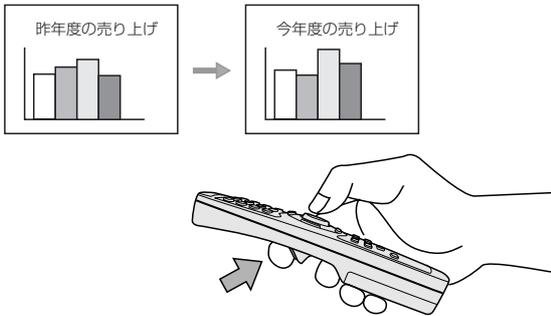


リモコンのLASERボタンを押している間、レーザー光を発します。

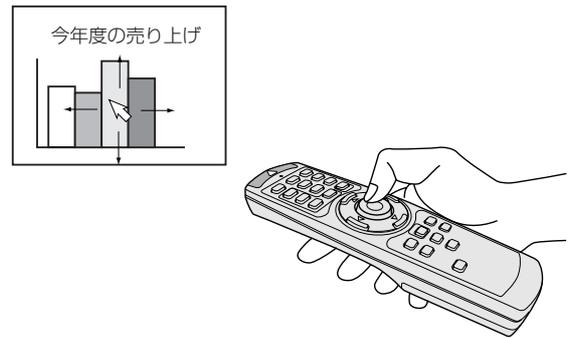
- レーザー光は、1分間照射すると自動的に発光を停止します。もういちど照射する場合は、LASERボタンを一度離してから、もういちど押ししてください。

2. リモコンをコンピュータのマウスとして使う(マウスリモコン)

本機のリモコンでコンピュータの操作が行えるので、たとえば、プレゼンソフトのページをめくったり、コンピュータ画面のカーソルを動かすことができます。

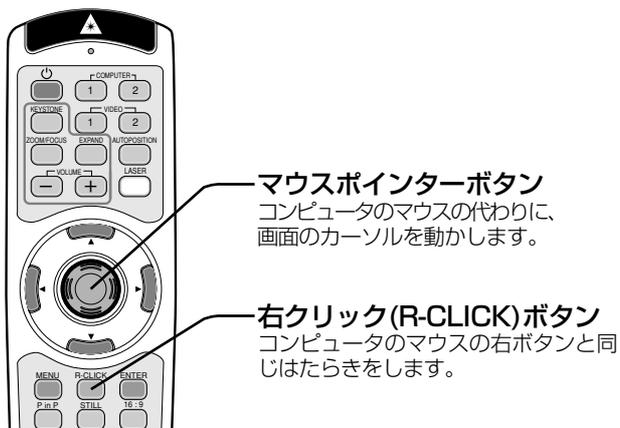


左クリックボタンを押して次の画面に切り換えます。



マウスポインターボタンを押してカーソルを動かします。

マウスとして使用するボタン



左クリックボタン
コンピュータのマウスの左ボタンと同じはたらきをします。

- 安全のために、LASERボタンを押してもレーザー光を照射しないようにすることもできます。

設定のしかた

LASERボタンを押しながら▼ボタンを3回押します。

設定解除のしかた

LASERボタンを押しながら▲ボタンを3回押します。

- 電池交換をした場合、設定解除されます。

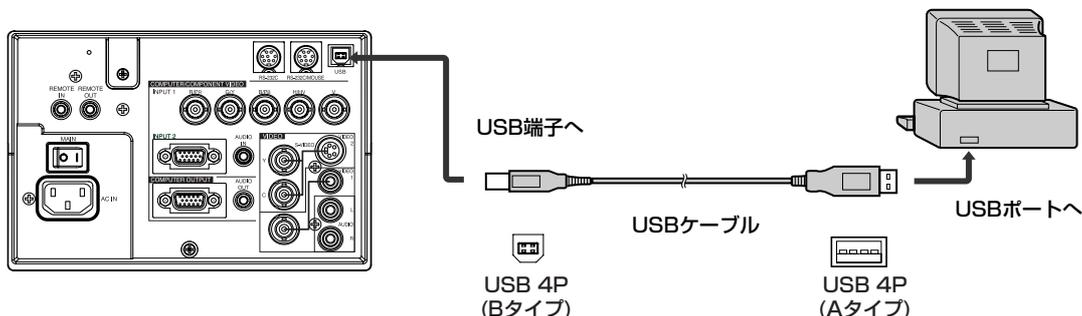
警告

- レーザー光を直接のぞき込まないでください。また、レーザー光を人に向けしないでください。レーザー光が目に入ると失明の原因となることがあります。

プレゼンテーションを演出する(つづき)

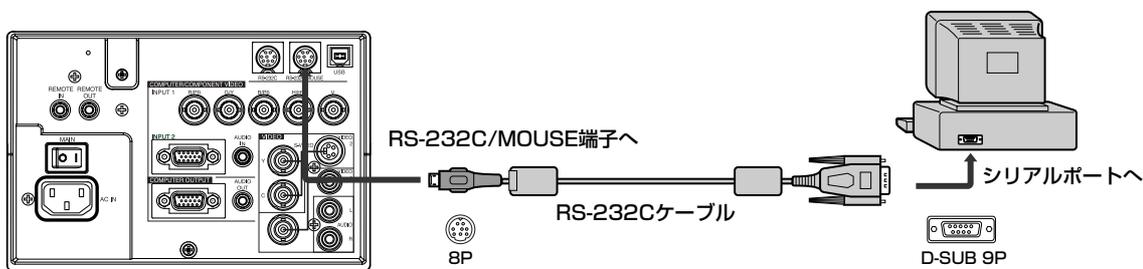
本機のリモコンでコンピュータの操作を行うために、以下の接続をします。

USBポート付き機種との接続



- USB接続してマウス操作できるのはUSBを標準でサポートしているコンピュータのみです。
- USBケーブルは本機の光源ランプが点灯してから接続してください。

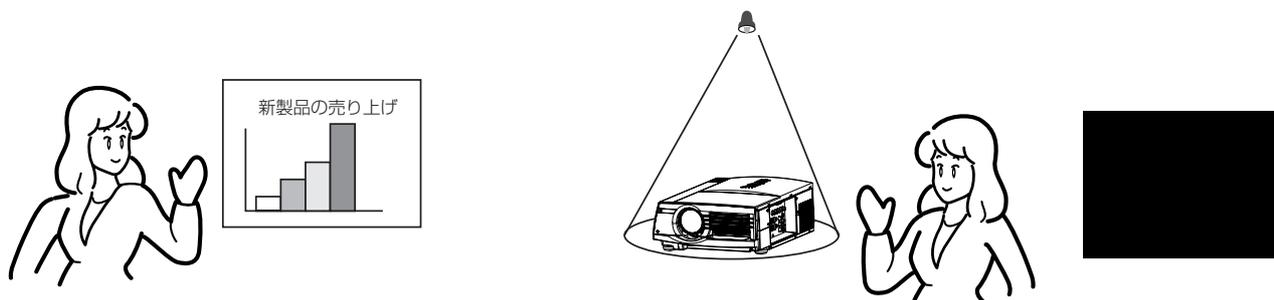
IBM PC またはその互換機との接続



- USB端子およびRS-232C/MOUSE端子の両方に接続している場合は、先に認識した方のみはたります。
- シリアルポートへの接続は、コンピュータと本機の電源を切ってから行ってください。コンピュータの電源が入った状態で接続してもマウスとしてはたきません。そのときは、もう一度コンピュータを立ち上げなおしてください。
- 同梱のRS-232Cケーブルを延長して使用したときは、正しくはたかないことがあります。

3. 映像と音声を一時的に消す (AVミュート)

スピーチやプレゼン映像以外のものに視線を集中させたいときなど、一時的に映像と音声を消すことができます。



新製品の売り上げは、このグラフの通りです。

これが、その新製品です。

操作のしかた

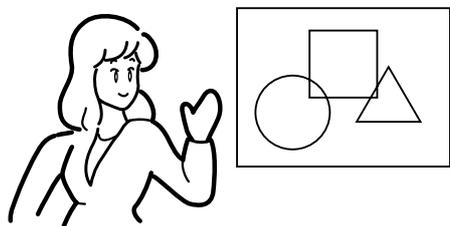
1. リモコンまたは本体のMUTEボタンを押す

映像が真っ暗になり、音声が消えます。

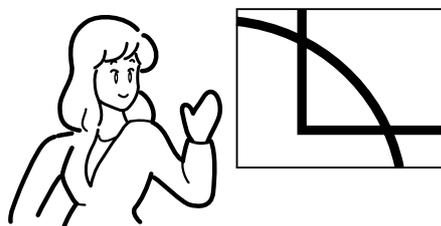
- もういちどMUTEボタンを押すと、通常画面にもどります。
- 設定メニューのミュートモードの設定を「LOGO」にすると、MUTEボタンを押したときにスプラッシュスクリーン(起動画面)が表示されます。スプラッシュスクリーンは、任意に変更することができます。くわしくは、インターネットホームページ (www.MitsubishiElectric.co.jp/projector/business) をご覧ください。
- MUTE中はランプモードが「低」になるため、LOGO表示が多少暗くなるありますが、故障ではありません。
- 機器の保護のため、MUTEは3時間で自動的に解除されます。LOGO表示中は解除されません。

4. 画面を拡大して見る (EXPAND)

本機は画面拡大機能により、画面の一部を拡大して見ることができます。画面拡大表示はCOMPUTER INPUT端子からの映像を表示している時のみはたります。VIDEO INまたはS-VIDEO IN端子からの映像を表示しているときははたしません。



この丸と四角の交点にご注目ください。



少しわかりにくいので拡大してみます。

表示のしかた

リモコンのEXPANDボタンを押す
画面拡大表示になります。

- もういちどEXPANDボタンを押すと、通常画面にもどります。

拡大率を変更するときは

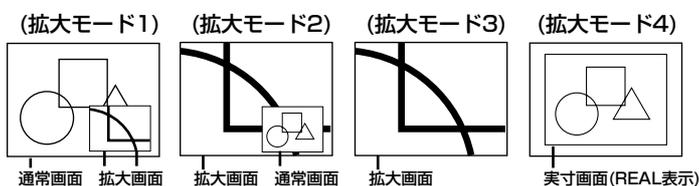
+または-ボタンを押す

- +ボタンを押すと拡大率が大きく、-ボタンを押すと小さくなります。
- +、-ボタンを押しても拡大率が変わらないときは、REALモードになっている可能性があります。そのときは、MENUボタンを押して、拡大モードの設定を1~3にしてください。(下記参照)

拡大させる範囲を変更するときは

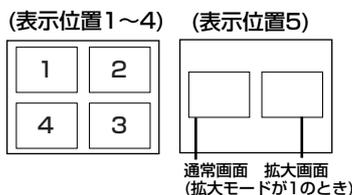
▲、▼、◀、▶ボタンを押す

画面拡大表示には次の4種類のモードが用意されています。設定はメニュー画面にておこないます



設定のしかた(メニューの使い方については、21ページをご覧ください。)

1. オプションメニューを表示させる
2. ▲、▼ボタンを押して、「拡大モード」を選ぶ
3. ◀、▶ボタンを押して、設定する(1~4)
 - 拡大モード4を選択すると、入力信号そのままの大きさで表示(REAL表示)させることができます。(36ページ参照)
4. ▲、▼ボタンを押して、「表示位置」を選ぶ
 - 拡大モードを1または2にしたときのみ選びます。
5. ◀、▶ボタンを押して、設定する(1~5)



- メニューを消すときは
6. MENUボタンを2回押す

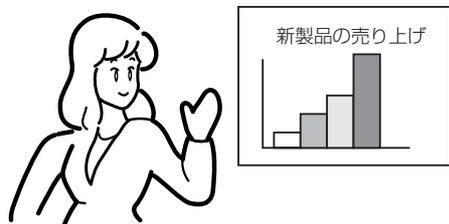
- 画面拡大表示中にMENUボタンを押すと、オプションメニューが表示され、拡大モードが選択された状態になります。
- 画面拡大表示中は、音量調整はできません。
- 画面拡大表示中は、信号設定メニューは表示できません。
- 入力信号によっては拡大表示できないことがあります。(36ページ参照)



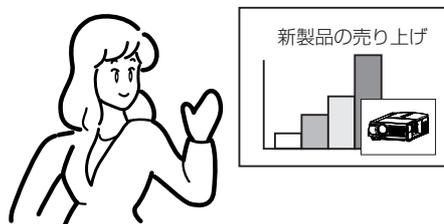
プレゼンテーションを演出する(つづき)

5. コンピュータとビデオ映像を同時に見る (PinP)

異なる入力の映像を同時に見ることができます。



売り上げは、この様に順調に伸びています。



その成功の秘訣をビデオ映像で紹介します。

表示のしかた

リモコンのPinPボタンを押す

- ビデオ入力(VIDEO INまたはS-VIDEO IN)端子からの映像を表示しているときは、コンピュータ入力(COMPUTER INPUT)端子からの映像が子画面として表示されます。
- コンピュータ入力(COMPUTER INPUT)端子からの映像を表示しているときはビデオ入力(VIDEO INまたはS-VIDEO IN)端子からの映像が子画面として表示されます。
- もういちどPinPボタンを押すと、通常画面にもどります。

親画面と子画面を入れ替えるときは

▲または▼ボタンを押す

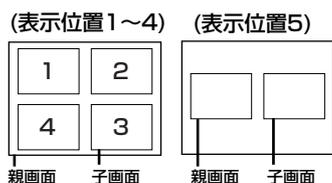
子画面の表示位置を変更するときは

◀または▶ボタンを押す

PinPボタンを押したときに、最初に表示される子画面の表示位置の設定はメニュー画面にておこないます

設定のしかた(メニュー設定のしかたについては、21ページをご覧ください。)

1. オプションメニューを表示させる
2. ▲、▼ボタンを押して、「表示位置」を選ぶ
3. ◀、▶ボタンを押して、設定する(1~5)



メニューを消すときは

4. MENUボタンを2回押す

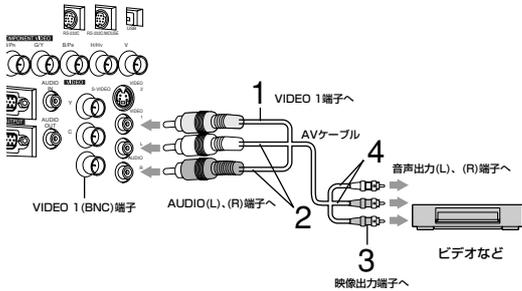
- PinPモード中は、画像の動作が不自然になる場合があります。
- PinPモード中の音声は、親画面の音声が出力されます。音量調整はできません。
- PinPモード中は、メニュー画面での信号設定はできません。
- PinPモード中、親画面の入力切替をおこなうとPinPは解除されます。ただし、解除されないこともあります。
- 入力信号によっては、PinPがはたらかないことがあります。(36ページ参照)
- UXGA信号は、子画面への表示はできません。

ビデオ機器の映像を見る

A. ビデオ機器と接続する

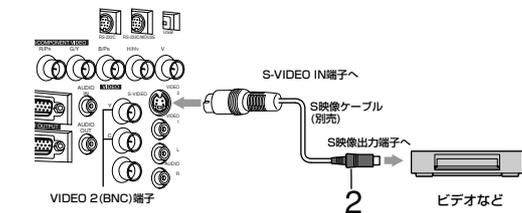
準備

- プロジェクターおよびビデオ機器の電源が切れていることを確認する



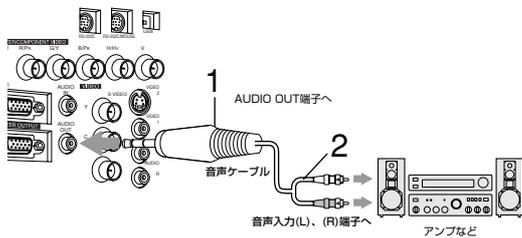
1. 付属のAVケーブルの黄色のプラグを本機のVIDEO 1 (ピン)端子に接続する
 2. 付属のAVケーブルの白色(L)および赤色(R)のプラグを本機のAUDIO L,R端子に接続する
 3. ビデオ機器の映像出力端子にAVケーブルのもう一方の黄色のプラグを接続する
 4. ビデオ機器の音声出力端子にAVケーブルのもう一方の白色(L)および赤色(R)のプラグを接続する
- ビデオ機器の映像出力端子がBNCタイプの場合、VIDEO 1 (BNC)端子に接続します。VIDEO 1 (BNC)端子とVIDEO 1 (ピン)端子の両方に接続した場合、VIDEO 1 (ピン)端子からの映像が優先されます。

ビデオ機器にS映像出力端子がある場合は、以下の接続も行います。



1. 市販のS映像ケーブルを本機のVIDEO 2 (S-VIDEO)端子に接続する
 2. ビデオ機器のS映像出力端子にS映像ケーブルのもう一方を接続する
- ビデオ機器の映像出力端子がBNC (Y, C)タイプの場合、VIDEO 2 (BNC)端子にY, C各々を接続します。
 - VIDEO 2 (BNC)端子とVIDEO 2 (S-VIDEO)端子の両方に接続した場合、VIDEO 2 (S-VIDEO)端子からの映像が優先されます。

外部スピーカからプロジェクターに接続している機器の音声を出すときは



1. 市販の音声ケーブルを本機のAUDIO OUT端子に接続する
- このとき、内部スピーカからの音声が出力されなくなります。
2. 外部スピーカと接続されたアンプの音声入力端子に音声ケーブルのもう一方を接続する

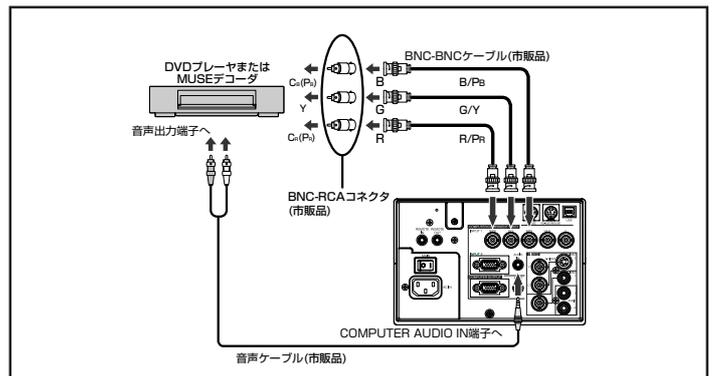
AUDIO OUT端子からの音声について

- 選択している入力の音声が出力されます。
- MUTEボタンを押すと音声が消えます。
- VOLUME(+または-)ボタンを押すと音量が変わります。

- 接続する機器の説明書もあわせてご覧ください。
- 接続について、くわしくは販売店にお問い合わせください。

DVDプレーヤまたはMUSEデコーダと接続する
DVDプレーヤまたはMUSEデコーダなど、コンポーネントビデオ出力端子を持つ機器と本機を接続するときは、COMPUTER/COMPONENT VIDEO INPUT端子に接続させます。

- 接続はBNC-BNCケーブルをお使いください。DVDプレーヤとの接続にはBNC-RCAコネクタが必要となります。
- DVDプレーヤおよびMUSEデコーダによっては映像が正しく投写できない場合があります。
- R, G, B出力を持つハイビジョン機器と接続するときは、信号設定メニューのCOMPUTER入力の設定をRGBにしてください。



B. 電源コードを差込む

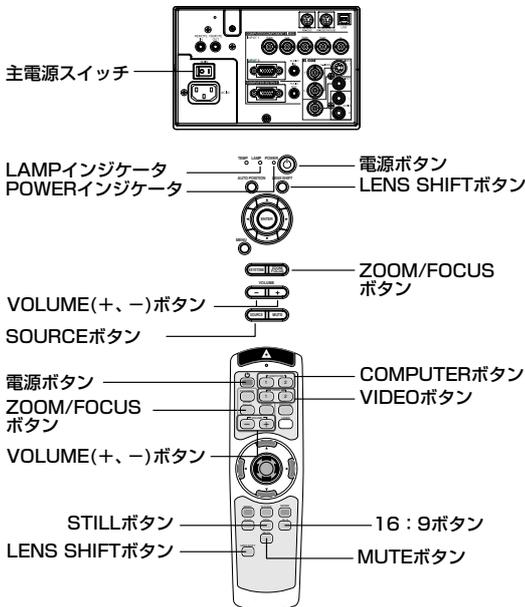
「コンピュータの映像を見る」と同じです。12ページをご覧ください。

ビデオ機器の映像を見る(つづき)

C. 投写する

準備

- レンズキャップをははずす
- 接続しているビデオ機器の電源を入れる



静止画について

リモコンのSTILLボタンを押すと、映像が一時的に停止します。もういちど押すと通常画面にもどります。

- 音声は通常通り聞こえます。
- 静止画中にSTILLボタン以外のボタンを押しても通常画面にもどります。(一部、もどらないボタンもあります。)

16:9ボタンについて

スクイーズ(左右に圧縮)された映像が記録されたDVDディスクなどを投写するときに16:9ボタンを押すと、元の16:9の横長画面で表示されます。もういちど押すと通常画面にもどります。

- オプションメニューの「スクイーズ」の設定を変更することにより、スクイーズされた映像や1080i、720pなどの横長の信号を投写したときの位置(中央、上、下)を変更することができます。
- 長時間ワイド画面で使用された後4:3表示で使用されると、画面の上下にマスク部分の痕跡が残る「焼き付け現象」が発生する場合があります。このような場合には、ワイド画面でご使用になった時間程度、4:3表示で均一な明るい画面を表示し続けることにより緩和されます。

電源を切る

以下のようにして電源を切ってください。主電源スイッチや電源プラグを抜いて電源を切った場合、ランプ性能の劣化や本体故障の原因となることがあります。

13. 電源ボタン(⏻)を押す

「電源オフ時は再度電源ボタンを押してください」のメッセージが表示されます。

- この状態を解除するには、電源ボタン(⏻)以外のボタンを押してください。

14. 電源ボタン(⏻)をもういちど押す

光源ランプが消灯し、スタンバイ状態になります。このとき、LAMPインジケータが点滅します。

15. LAMPインジケータの緑点滅が消えるまで、約2分間そのまま待つ

- スタンバイ状態で約2分間待つのは、光源ランプと液晶パネルを冷やすために、吸、排気ファンが回っているからです。
- LAMPインジケータが点滅中は主電源スイッチを切らないでください。使用後すぐに主電源スイッチを切ると故障の原因となることがあります。

16. 主電源スイッチを切る

POWERインジケータが消灯します。

- 安全のために必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源を入れる

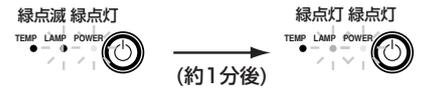
1. 主電源スイッチを入れる

- 主電源スイッチを入れると、POWERインジケータが赤色に点灯します。
- 前回の使用後に冷却が不完全な状態で終了された場合、主電源を入れた後ファンが回転し、電源ボタンを受けつけないことがあります。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。



2. 電源ボタン(⏻)を押す

- ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。
- まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。
- 電源ボタンを押したあと、または、ランプモードが切替わったあと、ランプが安定して点灯するまで映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。
- ランプモードは、電源を入れたときは「標準」モードで起動します。「低」モードに設定している場合は、約2分間で「低」モードに切替わります。



電源「切」の操作はできません。

ピントを調整する

3. ZOOM/FOCUSボタンを押して画面に「フォーカス」を表示させる
4. VOLUME(+または-)ボタンを押してピントを調整する

入力を切替える

5. リモコンのVIDEO1、2ボタンまたは本体のSOURCEボタンを押す

- SOURCEボタンを押すごとに「COMPUTER1」→「COMPUTER2」→「VIDEO1」→「VIDEO2」→「COMPUTER1」と切替わります。
- COMPUTER INPUT端子で接続しているDVDプレーヤまたはMUSEデコーダの映像を見るときは、COMPUTER1または2ボタン、または本体のSOURCEボタンを押します。

設置する

6. 所定の画面サイズが得られる様に投写距離を調整して設置する

7. 本機とスクリーンが垂直になる様に設置する

- 13ページの図を目安にして設置してください。
- 本機とスクリーンが垂直にならない場合は、角度調整を行ってください。(14ページ参照)

8. ZOOM/FOCUSボタンを押して画面に「ズーム」を表示させる

9. VOLUME(+または-)ボタンを押して、投写画面サイズに合わせる

- 13ページの表を目安にして設置してください。

10. LENS SHIFTボタンを押して画面に「枠縁」および「レンズシフト」を表示させる

11. ▲または▼ボタンを押して高さ方向、◀または▶ボタンを押して幅方向を調整し画面位置を合わせる

- 矢印ボタンを2秒間以上連続して押し続けると移動速度が早くなります。ただし可動範囲端に近い場合は、移動速度は遅くなります。
- 可動範囲端では画面の「枠縁」が黄色表示され、それ以上動かすことはできません。

必要に応じて、上記3～11の設定は微調してください。

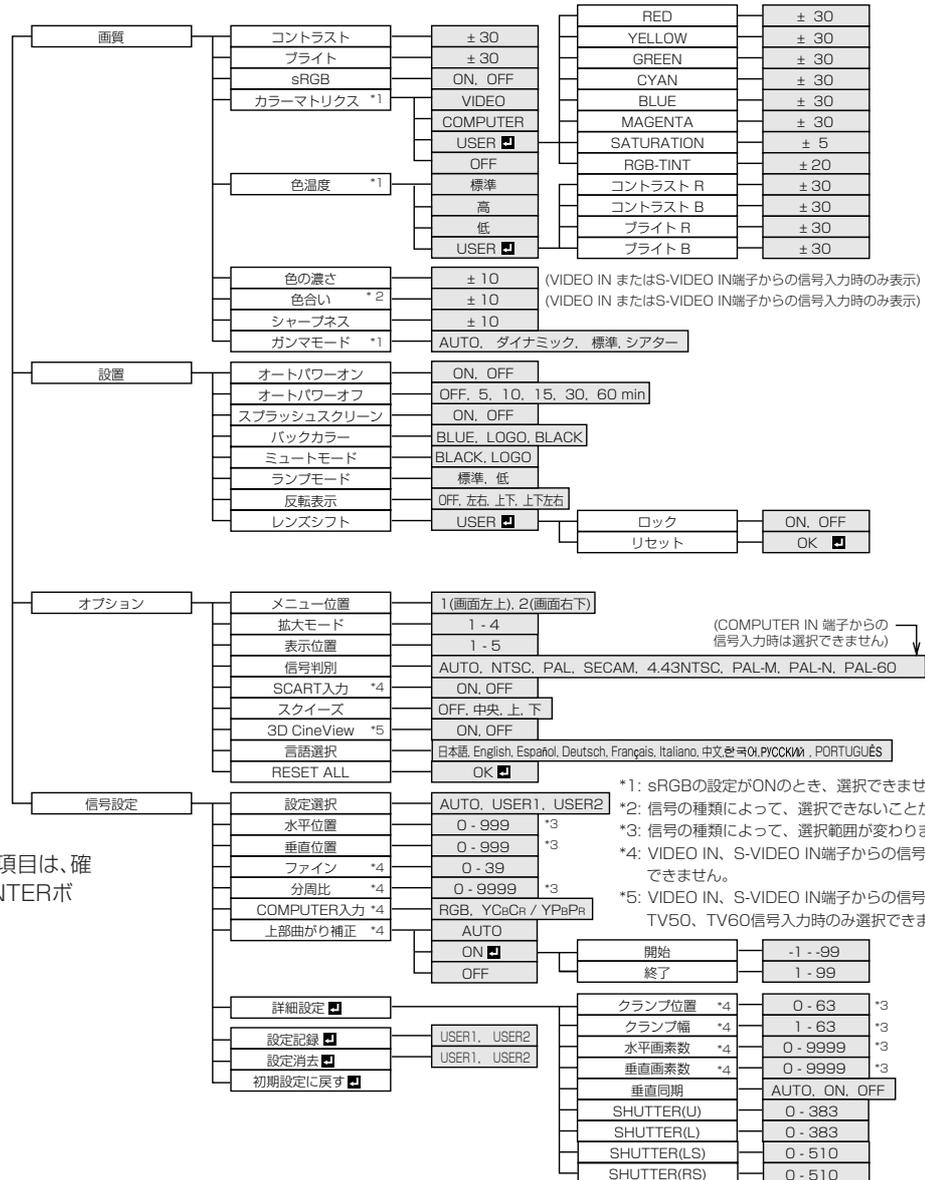
音量を調整する

12. VOLUME(+または-)ボタンを押して音量を調整する

- メニューが表示されているときは、VOLUMEボタンははたらきません。

メニューを使って設定する

メニュー遷移図



- メニュー画面上的「」マークのある項目は、設定するためには項目を選んでからENTERボタンを押す必要があります。

- *1: sRGBの設定がONのとき、選択できません。
- *2: 信号の種類によって、選択できないことがあります。
- *3: 信号の種類によって、選択範囲が変わります。
- *4: VIDEO IN、S-VIDEO IN端子からの信号入力時は選択できません。
- *5: VIDEO IN、S-VIDEO IN端子からの信号入力時またはTV50、TV60信号入力時のみ選択できます。

メニュー設定のしかた

画面はオートパワーオフの時間設定を例として説明しています。

1. MENUボタンを押す

メニュー選択バーが表示されます。



2. ◀、▶ボタンを押して表示させたいメニューを選ぶ



3. ENTERボタン(または▼ボタン)を押す

希望のメニューが表示されます。



4. ▲、▼ボタンを押して、設定したい項目を選ぶ



5. ◀、▶ボタンを押して設定する



メニューを消すときは

6. MENUボタンを数回押す

- ボタンを押しても、メニュー画面の操作ができなくなることがあります。この場合、誤動作している可能性があります。このときは、本体端子パネル上にあるリセットボタンを先のとがったもので、押してください。マイコンがリセットされ、しばらくすると、メニュー操作ができるようになります。
- 信号設定メニューおよび詳細設定メニューの調整は、必ず外部からの入力信号が入力されている状態でおこなってください。

メニューを使って設定する(つづき)

メニューで設定できること

本機では、以下の設定はメニュー画面を表示させて行います。

画質メニュー

XGA60	
画質	
コントラスト	◀ 0 ▶
ブライト	◀ 0 ▶
sRGB	◀ OFF ▶
カラーマトリクス	◀ COMPUTER ▶
色温度	◀ 標準 ▶
色の濃さ	◀ 0 ▶
色合い	◀ 0 ▶
シャープネス	◀ 0 ▶
ガンマモード	◀ AUTO ▶

設定項目	設定	はたらき
コントラスト	----- -30~+30 -----	映像のコントラストを調整します。(24ページ参照)
ブライト	----- -30~+30 -----	映像の明るさを調整します。(24ページ参照)
sRGB	----- ON/OFF -----	ONにすると色再現性を重視した画像になります。(24ページ参照)
カラーマトリクス	----- COMPUTER, VIDEO -----	あらかじめ設定された映像の色ごとの色合いを選択します。(24ページ参照)
	----- USER <input checked="" type="checkbox"/> -----	映像の色ごとの色合いをUSER調整します。(24ページ参照)
	----- OFF -----	カラーマトリクスは、はたらきません。
色温度	----- 標準/高/低/USER <input checked="" type="checkbox"/> -----	映像の色温度を調整します。(25ページ参照)
色の濃さ	----- -10~+10 -----	映像の色の濃さを調整します。(25ページ参照)
色合い	----- -10~+10 -----	映像の色合いを調整します。(25ページ参照)
シャープネス	----- -10~+10 -----	映像の鮮鋭度を調整します。(25ページ参照)
ガンマモード	----- AUTO -----	入力信号に合わせて、ガンマモードを設定します。通常はこれを選びます。
	----- ダイナミック -----	コンピュータ映像に適した設定になります。
	----- 標準 -----	ビデオ映像に適した設定になります。
	----- シアター -----	映画、音楽ライブを見るときなど比較的輝度を抑えたいとき選びます。

- COMPUTER INPUT端子からの信号入力時は色合いおよび色の濃さは表示されません。
- TV50(PAL, SECAM)信号入力時は色合いの調整はできません。

設置メニュー

XGA60	
設置	
オートパワーオン	◀ OFF ▶
オートパワーオフ	◀ OFF ▶
スプラッシュスクリーン	◀ ON ▶
バックカラー	◀ BLUE ▶
ミュートモード	◀ BLACK ▶
ランプモード	◀ 標準 ▶
反転表示	◀ OFF ▶
レンズシフト	◀ USER <input checked="" type="checkbox"/> ▶

設定項目	設定	はたらき
オートパワーオン	----- OFF -----	通常はこれを選びます。
	----- ON -----	主電源を入れたとき、自動的に電源が入ります。天吊り時などに設定します。
オートパワーオフ	----- OFF -----	オートパワーオフは、はたらきません。
	----- 5, 10, 15, 30, 60min -----	映像信号が未入力のとき設定した時間になると自動的に電源が切れます。
ｽﾌﾟﾗｯｼｭｽｸﾘｰﾝ	----- ON -----	電源を入れたときｽﾌﾟﾗｯｼｭｽｸﾘｰﾝ(起動画面)を表示します
	----- OFF -----	ｽﾌﾟﾗｯｼｭｽｸﾘｰﾝ(起動画面)を表示しません。
バックカラー	----- BLUE/LOGO/BLACK -----	無信号時の背景の色を選択します。
ミュートモード	----- BLACK/LOGO -----	MUTEボタンを押したとき、真っ黒な画面にするか、ｽﾌﾟﾗｯｼｭｽｸﾘｰﾝ(起動画面)を表示するかを選択します。
ランプモード	----- 標準 -----	通常はこれを選びます。
	----- 低 -----	ランプの明るさを抑さえるモードです。動作音が小さくなり、光源ランプの交換に至るまでの時間が長くなります。
反転表示	----- OFF -----	床置きで正面から映像を見るときに選びます。通常はこれを選びます。
	----- 左右 -----	床置きでスクリーンの裏側から映像を見るときに選びます。
	----- 上下 -----	天吊りして、スクリーンの裏側から映像を見るときに選びます。
	----- 上下左右 -----	天吊りして、正面から映像を見るときに選びます。
レンズシフト	----- USER <input checked="" type="checkbox"/> -----	ENTERボタンを押してレンズ位置調整モードの設定をします。「ロック」はレンズを現在の位置に固定します。「リセット」はレンズを工場出荷時の設定にもどします。

- バックカラーの設定を「BLACK」にしているとき、無信号状態が6時間続くと、機器の保護のため、自動的にBLUEに切り替わります。
- バックカラーまたはミュートモードの設定を「LOGO」にしているとき、長時間表示し続けると映像が焼きつく(画像残りする)場合があります。
- ミュートモードの設定を「LOGO」にしているとき、ミュート中に無信号になったときは、オートパワーオフの設定をしていてもはたらきません。
- ランプモードは、電源を入れたときは「標準」モードで起動します。「低」モードに設定している場合は、約2分間で「低」モードに切り替わります。
- ランプモードを切替えたとき、映像がちらつく場合がありますが、故障ではありません。

オプションメニュー

XG60		
オプション		
メニュー位置	◀ 1. [] ▶	
拡大モード	◀ 1. [] ▶	
表示位置	◀ 3. [] ▶	
信号判別	◀ AUTO ▶	
SCART入力	◀ OFF ▶	
スクイーズ	◀ OFF ▶	
3D CineView	◀ ON ▶	
言語選択	◀ 日本語 ▶	
RESET ALL	OK []	

設定項目	設定	はたらき
メニュー位置	1~2	メニューの表示位置を切替えます。1...左上、2...右下。
拡大モード	1~4	画面拡大のモードを選択します。(17ページ参照)
表示位置	1~5	子画面の表示位置を設定します。(17、18ページ参照)
信号判別	AUTO、NTSC、PAL他	ビデオ信号のカラー方式を選択します。(通常はAUTOに設定します。)
SCART入力	OFF/ON	欧州などで使用されているSCART端子付の機器と接続するときはONを選択します。通常はOFFを選択します。
スクイーズ	OFF	通常はこちらに合わせます。
	上、中央、下	スクイーズ(左右に圧縮)された映像が記録されたDVDディスクなどを投写するときの投写位置を選択します。
3D CineView	ON/OFF	高画質なビデオ映像を見るためにONを選択します。
言語選択	10言語	メニュー画面などの画面上に表示される言語を選びます。
RESET ALL	OK []	ENTER ボタンを押すと、メニュー画面の設定をすべて工場出荷時の値にもどします。(言語選択を除く。)

- SCART入力の設定を「ON」にしているとき、外部モニタ出力はできません。
- SCART入力の設定を「ON」にしているとき通常のコンピュータ信号は映りません。
- 信号判別の設定を「AUTO」にしているとき、正常に色がつかないことがあります。そのときは、入力信号に合わせた方式に設定してください。
- 3D CineViewの設定を「OFF」から「ON」に切替えたとき、約3秒間、動画検出の様子が確認できます。この間本体およびリモコンのボタンがはたらかなくなりますが、故障ではありません。
- 言語選択を「English」にして、NTSCの映像を表示させると、映像が暗くなる場合があります。(このとき、ブライトの設定が-15下がりします。メニュー画面に表示される数値は変わりません。)

信号設定メニュー(外部信号が入力されていないと調整はできません。)

XG60		
信号設定		
設定選択	◀ AUTO ▶	
水平位置	◀ 0 ▶	
垂直位置	◀ 0 ▶	
ファイン	◀ 0 ▶	
分周比	◀ 0 ▶	
COMPUTER入力	◀ RGB ▶	
上部曲がり補正	◀ AUTO ▶	
詳細設定	[]	
設定記録	[]	
設定消去	[]	
初期設定に戻す	[]	

設定項目	設定	はたらき
設定選択	AUTO/USER1/USER2	記録された信号設定メニューの設定内容呼び出します。設定が記録されていないときは選べません。(26ページ参照)
水平位置	0 ~ 999 *	映像の表示位置を左右に動かします。
垂直位置	0 ~ 999 *	映像の表示位置を上下に動かします。
ファイン	0 ~ 39	映像にちらつきやぼけが出たときに、画面を見ながら調整します。
分周比	0 ~ 9999 *	映像に幅広の縞模様が出たときに、画面を見ながら調整します。
COMPUTER入力	RGB	通常はこちらに合わせます。R,G,B出力端子を持つハイビジョン機器と接続するときは、こちらに合わせます。
	YCbCr/YpBPr	Y,Cb,Crコンポーネントビデオ出力端子を持つDVDプレーヤまたはY,Pb,Prコンポーネントビデオ出力端子を持つMUSEデコーダなどと接続するときに設定します。DVDプレーヤなどで525p信号を入力するときは、こちらに合わせます。
上部曲がり補正	AUTO	通常はこちらに合わせます。
	ON []	画面に上部曲がりがおこったときに調整します。
	OFF	上部曲がりに対する調整をおこないません。
詳細設定	[]	選択してENTERボタンを押すと詳細設定メニューが表示されます。
設定記録	[]	信号メニューの設定を記録します。(26ページ参照)
設定消去	[]	記録された信号メニューの設定を消去します。(26ページ参照)
初期設定に戻す	[]	信号メニューの設定を工場出荷時の設定に戻します。(26ページ参照)

詳細設定メニュー(外部信号が入力されていないと調整はできません。通常、さわらないでください。)

信号設定-詳細設定		
クランプ位置	◀ 0 ▶	
クランプ幅	◀ 0 ▶	
水平画素数	◀ 0 ▶	
垂直画素数	◀ 0 ▶	
垂直同期	◀ AUTO ▶	
SHUTTER(U)	◀ 0 ▶	
SHUTTER(L)	◀ 0 ▶	
SHUTTER(LS)	◀ 0 ▶	
SHUTTER(RS)	◀ 0 ▶	

設定項目	設定	はたらき
クランプ位置	0 ~ +63 *	投写画面が白くつぶれたり黒くつぶれたりするときに調整します。
クランプ幅	1 ~ 63 *	投写画面が黒くつぶれるときに調整します。
水平画素数	0 ~ 9999 *	画面の左右にノイズが出る場合に調整します。通常は入力信号の画素数に合わせます。
垂直画素数	0 ~ 9999 *	画面の上下にノイズが出る場合に調整します。通常は入力信号のライン数に合わせます。
垂直同期	AUTO	通常はこちらに合わせます。
	ON/OFF	映像の動きが不自然なときに画面を見ながら、どちらかに合わせます。
SHUTTER(U)	0 ~ 383	画面の上にノイズが出る場合に調整します。
SHUTTER(L)	0 ~ 383	画面の下にノイズが出る場合に調整します。
SHUTTER(LS)	0 ~ 510	画面の左にノイズが出る場合に調整します。
SHUTTER(RS)	0 ~ 510	画面の右にノイズが出る場合に調整します。

- *マークのある項目は他の設定によって設定範囲が変化します。

映像を調整する

映像の明るさを調整する(コントラスト、ブライト)

メニューを使って映像の明るさに関する調整をします。



1. 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは21ページ参照)
2. ▲、▼ボタンを押す
 - 「コントラスト」または「ブライト」を選びます。
3. ◀、▶ボタンを押して調整する
コントラスト ▶ボタンを押すごとに映像が明るくメリハリが出ます。◀ボタンを押すごとに映像が暗くしっとりします。
ブライト ▶ボタンを押すごとに映像が明るくなります。◀ボタンを押すごとに映像が暗くなります。

元の色を忠実に再現する(sRGB)

インターネットの映像など、元の画像にできるだけ忠実な色を再現したいときに設定します。

1. 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは21ページ参照)



2. ▲、▼ボタンを押して「sRGB」を選ぶ
3. ◀、▶ボタンを押して「ON」を選ぶ

sRGBについて

米マイクロソフト社が推奨する次世代色空間の国際規格。より忠実な色再現が可能になります。

- 「sRGB」の設定を「ON」にすると、「カラーマトリクス」、「色温度」および「ガンマモード」の調整は出来ません。
- 「sRGB」の設定を「ON」にすると、映像が多少、暗くなります。
- VIDEO INまたはS-VIDEO IN端子からの信号入力時にも「sRGB」の設定を「ON」にすることはできますが、規格値とは一致していません。お好みに合わせて使用してください。

色ごとの色合いを調整する(カラーマトリクス)

本機ではカラーマトリクス調整を行うことにより、RGBおよびその中間色であるイエロー、シアン、マゼンタの各色ごとに色合いを独立に調整することができます。ある特定の色のみを強調したいときや、ある特定の色の色合いのみがずれている場合は、カラーマトリクスのUSER調整を行ってください。

1. 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは21ページ参照)
2. ▲、▼ボタンを押してカラーマトリクスを選ぶ
3. ◀、▶ボタンを押して「USER」を選ぶ
4. ENTERボタンを押す
5. ▲、▼ボタンを押して設定したい色を選ぶ
 - 全体の色を彩度を設定したいときは、「SATURATION」を選びます。
 - 全体の色を同時に設定したいときは、「RGB-TINT」を選びます。
6. ◀、▶ボタンを押して設定する
7. 5、6の操作を繰り返して設定する



白の色合いを調整する(色温度の詳細設定)

メニューを使って色温度(白の色合い)の調整をします。

1. 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは21ページ参照)
2. ▲、▼ボタンを押して「色温度」を選ぶ
3. ◀、▶ボタンを押して「USER ■」を選ぶ
4. ENTERボタンを押す
 - 色温度の詳細メニューが表示されます。
5. ▲、▼ボタンを押して設定したい項目を選ぶ
6. ◀、▶ボタンを押して設定する
7. 5、6の操作を繰り返して設定する
8. MENUボタンを3回押す

色温度-USER		
▶ コントラストR	◀ 0 ▶	
▶ コントラストB	◀ 0 ▶	
☀️ ブライTR	◀ 0 ▶	
☀️ ブライTB	◀ 0 ▶	

色温度について

同じ白色といっても、いろいろの程度があります。白さの程度を表す方法のひとつに色温度があります。色温度の低い白色は赤みがかかった白色となり、色温度の高い白色は青みがかかった白色となります。本機では、この色温度の設定をコントラスト青とコントラスト赤の数値を変化させることにより、設定します。

色温度を高くするには ... コントラストB(青)の数値を大きく、コントラストR(赤)の数値を小さく設定します。

色温度を低くするには ... コントラストB(青)の数値を小さく、コントラストR(赤)の数値を大きく設定します。

色を調整する(色の濃さ、色合い)

メニューを使って映像の色に関する調整をします。

1. 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは21ページ参照)
 2. ▲、▼ボタンを押す
 - 「色の濃さ」または「色合い」を選びます。
 3. ◀、▶ボタンを押して調整する
 - 色の濃さ ▶ボタンを押すごとに色が濃くなります。◀ボタンを押すごとに色が薄くなります。
 - 色合い ▶ボタンを押すごとに肌色が緑がかります。◀ボタンを押すごとに肌色が紫がかります。
- 「色合い」、「色の濃さ」はビデオ入力時のみ表示されます。
 - 「色合い」は、NTSC、4.43NTSC時のみはたります。

■ 色の濃さ	◀ 0 ▶
■ 色合い	◀ 0 ▶

映像をくっきりさせたり、ソフトにする(シャープネス)

メニューを使って映像の鮮鋭度に関する調整をします。

1. 画質メニューを表示させる(メニュー設定のしかたは21ページ参照)
2. ▲、▼ボタンを押して「シャープネス」を選ぶ
3. ◀、▶ボタンを押して調整する

S シャープネス	◀ 0 ▶
----------	-------

映像を調整する(つづき)

コンピュータ映像の調整

本機は、コンピュータからの映像の信号に合わせて自動的に適切な信号形式に設定しますが、コンピュータの種類によっては、正しく投写できない場合があります。そのときは、AUTO POSITIONボタンを押してください(13ページ参照)。それでも正しく投写されないときはメニュー画面を使って投写されるコンピュータ映像を調整します。また、設定した内容を記録させておくこともできます。

メニュー画面を使ったコンピュータ映像の調整のしかた

次のような症状のときは以下の様に調整してください。

- 投写画面が左右にずれる 信号設定メニューの**水平位置**を調整します。◀ボタンを押すごとに映像が右にずれます。▶ボタンを押すごとに映像が左にずれます。
- 投写画面が上下にずれる 信号設定メニューの**垂直位置**を調整します。◀ボタンを押すごとに映像が下にずれます。▶ボタンを押すごとに映像が上にずれます。
- 投写画面がちらつく
投写画面がぼける 信号設定メニューの**ファイン**を調整します。
- 幅広のしま模様が出る 信号設定メニューの**分周比**を調整します。
- 画面が白く(または黒く)つぶれる 信号設定メニューの詳細メニューの中の**クランプ位置**または**クランプ幅**を調整します。
- 画面の左右にノイズなどが出る 信号設定メニューの中の詳細メニューの**水平画素数**、**SHUTTER(LS)**または**SHUTTER(RS)**を調整します。
- 画面の上下にノイズなどが出る 信号設定メニューの中の詳細メニューの**垂直画素数**、**SHUTTER(U)**または**SHUTTER(L)**を調整します。
- 画面に上部曲がりがおこる 信号設定メニューの**上部曲がり補正**の設定を変更します。設定を「ON」にしてENTERボタンを押し、「開始」および「終了」の値を調整して最も上部曲がりを少なくします。通常は「AUTO」に設定してください。
- 映像の動きが不自然 信号設定メニューの中の詳細メニューの**垂直同期**を調整します。通常は「AUTO」に設定してください。

- 信号設定メニューの中の詳細メニューの設定は通常、変更しないでください。

簡単な画面位置調整のしかた(AUTO POSITIONボタンで調整できない場合)

水平位置の調整：

1. **水平位置**を調整して映像の左端を合わせ、**分周比**を調整して右端を合わせる。
2. 1の操作を繰り返し、水平位置の調整を行う。

垂直位置の調整：

3. **垂直位置**を調整して映像の上端を合わせる。

信号メニューの設定記録について

本機は、信号メニューの設定を最大2種類まで記録させることができます。

変更した設定を記録するには

1. 信号設定メニューの設定記録の項目を選び、ENTERボタンを押す
 2. ◀、▶ボタンを押して、記録先(USER 1またはUSER 2)を選ぶ
 3. ENTERボタンを押す
- 記録実行中の約3秒間は、ボタンを押しても受け付けません。しばらく待ってから操作してください。

変更した設定を初期設定にもどすには

信号設定メニューの初期設定に戻すの項目を選び、ENTERボタンを押します。

- 設定選択を「AUTO」にしているときのみはたります。

記録した設定で映像を見るには

信号設定メニューの設定選択の項目を選び、◀、▶ボタンを押して、記録したメモリー(USER 1またはUSER 2)を選びます。

記録した設定を消すには(USER 1、2のデータを消去する場合)

1. 信号設定メニューの設定消去の項目を選び、ENTERボタンを押す
 2. ◀、▶ボタンを押して、消去先(USER 1またはUSER 2)を選ぶ
 3. ENTERボタンを押す
- 記録していた設定が消えます。
- 消去実行中の約3秒間は、ボタンを押しても受け付けません。しばらく待ってから操作してください。

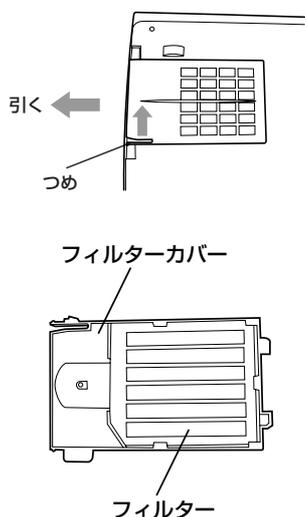
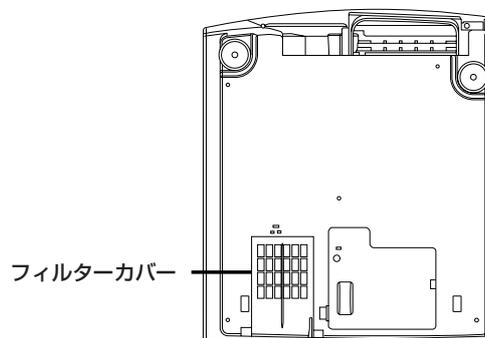
お掃除のしかた

お手入れをする前には必ず主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、同梱のセーフティピンをターミナルカバーのセーフティピン差込口に差し込んでから作業してください。

フィルターをきれいにする

フィルターのお手入れはこまめにおこなってください(1か月に一度程度)。吸気口にあるフィルターにほこりがたまると本体内部の温度が異常に高くなり、内部部品を傷めたり、パネルの寿命に影響を与えるなどして、故障の原因となることがあります。

- 本体内部の温度が異常に高くなると、TEMPインジケータが赤色で点滅し、電源が切れて光源ランプが消灯したスタンバイ状態になります。



吸気口用フィルターの掃除のしかた

1. フィルターカバーのつめを内側に押さえたまま引き出す

2. フィルターを取り外す

3. 付属品のフィルターと交換するか、または、フィルターを洗う

- 水で洗うか、汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤で洗って、水でよく洗い流してください。洗った後は、十分に乾燥させてください。

4. フィルターをフィルターカバーに取付ける

5. フィルターカバーを本体に取付ける

- 水で洗うか、汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤で洗って、水でよく洗い流してください。洗った後は、十分に乾燥させてください。
- フィルターの汚れが落ちなかったり、破損した場合は、付属の新しいフィルターと交換してください。フィルターがなくなったときのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

⚠ 注意

- フィルターカバーが外れていると電源が入りません。(このとき、POWERインジケータが赤と緑に点滅します。)
- フィルターは必ず取付けてご使用ください。フィルターを取付けずに使用すると内部にほこりや異物が入り、火災、故障の原因となることがあります。

本体をきれいにする

柔らかい布で軽く汚れをふき取る

- 汚れがひどいときは水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼって拭いて、乾いた布で仕上げてください。
- 殺虫剤をかけたり、ベンジンやシンナーなどで拭いたり、ゴムやビニール製品を長時間接触させると、変質したり、塗料がはげる原因となります。

レンズをきれいにする

市販のレンズ手入れ用品(ブローワーブラシなど)でほこりや汚れを取る

- レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

ターミナルカバーをきれいにする

ターミナルカバー内は異物やほこりがたまりやすいので、そうじはこまめにおこなってください。

その他

お掃除のしかた
映像を調整する

光源ランプを交換する

本機には、液晶パネルの映像を投写するために光源ランプが内蔵されています。

本光源ランプは消耗部品であり、使用中に切れたり、輝度が低下する場合があります。このような場合、早めに新しい光源ランプと交換してください。

光源ランプは、必ず別売のLVP-XL5950/LVP-XL5900専用の光源ランプをご使用ください。光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。

LVP-XL5950/LVP-XL5900用光源ランプ 型名:VLT-XL5950LP

警告

- 光源ランプを交換する前に、必ず主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。主電源スイッチを切らずに交換を行うと感電の原因となることがあります。
- 光源ランプの固定ネジを本機内部に落とさないようにしてください。また、本機内部に金属片や燃えやすいものなどを入れないでください。内部に異物が入ったまま使うと感電や火災の原因となります。入ったものがとれないときは、異物の回収を三菱電機テクニカルサポートセンターにご依頼ください。
- 光源ランプは確実に取付けてください。取付けが不十分な場合、光源ランプは点灯しません。また、火災の原因にもなります。
- 取出した光源ランプは決して振ったり顔の上に持っていかないでください。ガラス片が飛び散ったり落下して目に入る等のけがの恐れがあります。
- 使用した直後、ランプカバーは高温になっていますので光源ランプの交換はしないでください。やけどなどの原因となります。電源ボタンで電源を切り、光源ランプ消灯後、冷却のための吸・排気ファンが止まるまで約2分間お待ちください。そして主電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き1時間以上たって十分に冷えてから交換をはじめてください。
- 高圧水銀ランプが破裂した場合、本体内部にガラス片が散乱している可能性があります。清掃やランプ交換をお客様ご自身でなされる場合、必ず本体をうらがえしにし、光源ランプの取っ手を持っておこなってください。ガラス片でけがの恐れがあります。三菱電機テクニカルサポートセンターに光源ランプの交換と内部の点検を依頼することをお勧めします。

注意

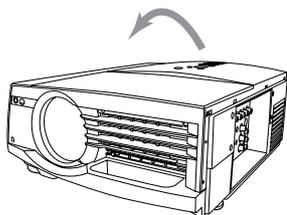
本機は光源ランプの使用時間が1000時間*1を越えるとLAMPインジケータが点滅し、パワーオンするたびに画面上に1分間メッセージが表示されます。1400時間*1を越えると以後10時間おきに画面上に1分間ランプ交換メッセージ(LAMP:>1400H)が表示されます。また、光源ランプの使用時間が1500時間*1,*2を越えると自動的に電源が切れ、光源ランプを交換するまで使用することができなくなります。

- 光源ランプは、交換以外の目的では取出さないでください。故障の原因となることがあります。
- 本機的光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプは、衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりする特性があります。また、高圧水銀ランプは個体差や使用条件によって破裂や不点灯に至るまでの時間はそれぞれの高圧水銀ランプで大きな差があります。従いまして、使用開始後まもない場合でも破裂することがあります。
- 交換時期を越えてお使いになると破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換の指示が出た場合、光源ランプが正常に点灯している状態でもすみやかに新しい光源ランプと交換してください。
- 高圧水銀ランプ破裂のとき、ランプBOX部内、外にガラスの破片が飛び散ったり、光源ランプ内部のガスが本体の排気口から出たりすることがあります(白いガス)。高圧水銀ランプ内部のガスには水銀が含まれています。吸い込んだり、目に入ったり、口に入ったりしないようご注意ください。万一、吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合には、速やかに医師にご相談ください。
- 使用済みのランプは、自治体で定められた条例、もしくは規則に従って廃棄してください。

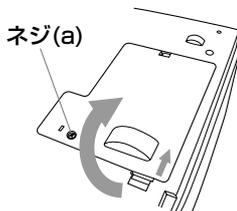
*1) ランプモードを「標準」にした場合の時間です。「低」にした場合は、記載時間よりも時間が長くなります。

*2) 最大約2000時間

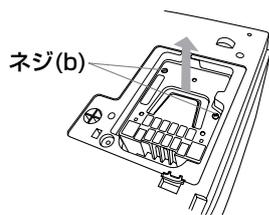
ランプ交換のしかた



1 本体をうらがえす

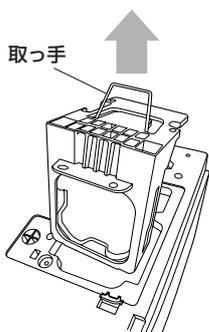


2 固定ネジ1本(a)をプラスドライバーで回してゆるめ、ランプカバーを本体から取外す



3 ランプBOXの固定ネジ2本(b)をプラスドライバーで回してゆるめる

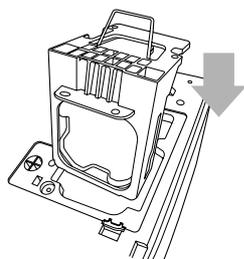
4 取っ手を引きあげる



5 取っ手を持って、ランプを本体から抜き出す

- 光源ランプを本体から抜き出す際は、ゆっくりとおこなってください。電球部が破裂している場合は急に抜き出しますとガラス片が飛び散る恐れがあります。
- 取出した光源ランプに水などをかけたり、お子さまの手の届くところや、燃えやすい物の近くに置かないでください。やけどやけがの原因となります。

6 新しいランプの取っ手を持って、本体の穴の形状にランプ形状の方向を合わせて、ランプを奥に当たるまで差し込む



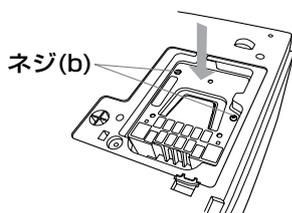
7 取っ手を収納部に押し込む

- 取っ手が確実にロックされていることを確認してください。

8 固定ネジ2本(b)をプラスドライバーで回してしっかりと締める

9 ランプカバーを本体に差し込む

- ランプカバーが外れているとPOWERインジケータが赤と緑で点滅し、電源が入りません。



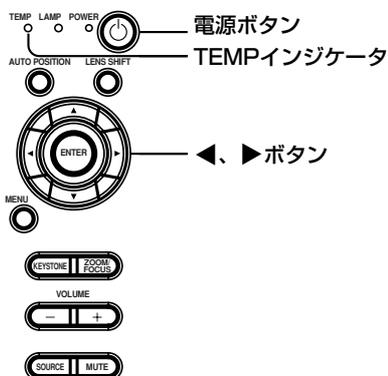
ランプ使用時間のリセットのしかた

10 電源を入れる

11 本体操作パネルの◀、▶ボタンおよび電源ボタンを同時に押す

- 3つのボタンが同時に押されない場合、リセットされないことがあります。
- TEMPインジケータが約2秒間点灯し、リセットされたことをご確認ください。
- ランプ使用時間が1500時間*を越えていた場合、ランプを交換しても使用時間をリセットするまでは光源ランプを点灯させることはできません。
- ランプを交換をしていないときは使用時間をリセットしないでください。

*) ランプモードを「標準」にした場合の時間



故障かなと思ったら

修理を依頼される前に、次のことをご調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

映像が映らない

現象	確認/処置																												
電源が入らない	<p>● インジケータの光りかたを確認する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>POWER</th> <th>LAMP</th> <th>TEMP</th> <th>処置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ 消灯</td> <td>○ 消灯</td> <td>○ 消灯</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを本機に接続する。 ● 電源プラグをコンセントに接続する。 ● 主電源スイッチを「入」にする。 </td> </tr> <tr> <td rowspan="4">☀ 赤点灯</td> <td>○ 消灯</td> <td>○ 消灯</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 主電源スイッチを切る。 2. 本体が冷めているのを確認する。 3. 主電源スイッチを入れる。 4. 電源ボタンを押す。 </td> </tr> <tr> <td>○ 消灯</td> <td>☀ 赤点滅</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。 ● 暖房の吹き出しが、排気口にかからない様にする。 ● フィルターが汚れていないか確認する。 →フィルターの手入れをする。(27ページ) </td> </tr> <tr> <td>☀ 緑点滅</td> <td>○ 消灯</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● LAMPインジケータの緑点滅が消えてから、電源ボタンを押す。 <ul style="list-style-type: none"> ● ファンの動作中に主電源を「切」にすると、次に主電源スイッチを「入」にした時、約1分間点灯できなくなる場合があります。 ● 光源ランプを消灯した後、約1分間は再点灯できません。 ● 数回電源ボタンを押す。 </td> </tr> <tr> <td>☀ 赤点灯</td> <td>○ 消灯</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 光源ランプを交換する。(光源ランプの寿命に達しています。) </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">☀ 赤/緑点滅</td> <td>○ 消灯</td> <td>○ 消灯</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 裏面のランプカバーを取り付ける。 ● 裏面のフィルターカバーを取り付ける。 </td> </tr> <tr> <td>☀ 点灯 または ☀ 点滅</td> <td>☀ 点灯 または ☀ 点滅</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグをコンセントから抜き、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。 </td> </tr> </tbody> </table>	POWER	LAMP	TEMP	処置	○ 消灯	○ 消灯	○ 消灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを本機に接続する。 ● 電源プラグをコンセントに接続する。 ● 主電源スイッチを「入」にする。 	☀ 赤点灯	○ 消灯	○ 消灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 主電源スイッチを切る。 2. 本体が冷めているのを確認する。 3. 主電源スイッチを入れる。 4. 電源ボタンを押す。 	○ 消灯	☀ 赤点滅	<ul style="list-style-type: none"> ● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。 ● 暖房の吹き出しが、排気口にかからない様にする。 ● フィルターが汚れていないか確認する。 →フィルターの手入れをする。(27ページ) 	☀ 緑点滅	○ 消灯	<ul style="list-style-type: none"> ● LAMPインジケータの緑点滅が消えてから、電源ボタンを押す。 <ul style="list-style-type: none"> ● ファンの動作中に主電源を「切」にすると、次に主電源スイッチを「入」にした時、約1分間点灯できなくなる場合があります。 ● 光源ランプを消灯した後、約1分間は再点灯できません。 ● 数回電源ボタンを押す。 	☀ 赤点灯	○ 消灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 光源ランプを交換する。(光源ランプの寿命に達しています。) 	☀ 赤/緑点滅	○ 消灯	○ 消灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 裏面のランプカバーを取り付ける。 ● 裏面のフィルターカバーを取り付ける。 	☀ 点灯 または ☀ 点滅	☀ 点灯 または ☀ 点滅	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグをコンセントから抜き、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。
POWER	LAMP	TEMP	処置																										
○ 消灯	○ 消灯	○ 消灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードを本機に接続する。 ● 電源プラグをコンセントに接続する。 ● 主電源スイッチを「入」にする。 																										
☀ 赤点灯	○ 消灯	○ 消灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除き、以下の操作を行ってください。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 主電源スイッチを切る。 2. 本体が冷めているのを確認する。 3. 主電源スイッチを入れる。 4. 電源ボタンを押す。 																										
	○ 消灯	☀ 赤点滅	<ul style="list-style-type: none"> ● 吸気口、排気口をふさいでいる物があれば取り除く。 ● 暖房の吹き出しが、排気口にかからない様にする。 ● フィルターが汚れていないか確認する。 →フィルターの手入れをする。(27ページ) 																										
	☀ 緑点滅	○ 消灯	<ul style="list-style-type: none"> ● LAMPインジケータの緑点滅が消えてから、電源ボタンを押す。 <ul style="list-style-type: none"> ● ファンの動作中に主電源を「切」にすると、次に主電源スイッチを「入」にした時、約1分間点灯できなくなる場合があります。 ● 光源ランプを消灯した後、約1分間は再点灯できません。 ● 数回電源ボタンを押す。 																										
	☀ 赤点灯	○ 消灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 光源ランプを交換する。(光源ランプの寿命に達しています。) 																										
☀ 赤/緑点滅	○ 消灯	○ 消灯	<ul style="list-style-type: none"> ● 裏面のランプカバーを取り付ける。 ● 裏面のフィルターカバーを取り付ける。 																										
	☀ 点灯 または ☀ 点滅	☀ 点灯 または ☀ 点滅	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源プラグをコンセントから抜き、三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。 																										
映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ● MUTEボタンを押してAVミュートの設定をはずす。 ● ランプ点灯に1分程度かかる場合があります。 ● まれにランプ点灯に失敗することがあります。数分たってから再度点灯させてください。 ● 前回の使用後に冷却が不完全な状態で終了された場合、主電源を入れた後ファンが回転し電源ボタンを受けつけないことがあります。ファンが停止してから電源ボタンを押して、再度点灯させてください。 ● オプションメニューのSCART入力の設定を「OFF」にする。(23ページ参照) ● フィルターが汚れていないか確認する。(27ページ参照) ● フィルターカバー、ランプカバーが閉まっているか確認する。(27、29ページ参照) ● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。 ● 延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることをご確認ください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルとRGB信号増幅器を合わせてご使用ください。 																												
映像が突然消える	<ul style="list-style-type: none"> ● 吸気口、排気口がふさがれているときになることがあります。(このときLAMPインジケータは緑点滅しています。) →吸気口、排気口をふさいでいる物を取り除いてから以下の操作を行う。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 吸・排気ファンが止まるまで待つ。(LAMPインジケータが消灯するまで待つ。) 2. 主電源スイッチを切る。 3. 約10分ほど待つ。 4. 主電源スイッチを入れる。 5. 電源ボタンを押す。 ● LAMPインジケータが赤点灯しているときは、ランプ交換の表示です。光源ランプを交換してください。 																												
「入力信号がありません」が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● 接続した機器の電源を入れる。または接続した機器が故障していないか確認する。 ● 外部機器の信号が出力されているか確認する。(特にノートタイプのコンピュータの場合) ● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。 ● 外部機器と接続している端子が正しい端子に接続されているか確認する。 ● 接続した機器の入力が正しく選ばれているか確認する。 ● 延長ケーブルを使用している場合は、付属のケーブルと差し替えて正常に映像が表示されていることをご確認ください。正常に映像が表示される場合は、延長ケーブルとRGB信号増幅器を合わせてご使用ください。 																												

映像がおかしい

現象	確認/処置
映像がゆれる 画面位置がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部機器と接続しているケーブルが断線しかかかっていないか確認する。 ● 外部機器と接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。 ● AUTO POSITIONボタンを押す。 ● コンピュータの種類によっては、まれに規格外の信号が出力される場合があるので信号設定メニューで調整する。(23ページ参照)
映像がひずむ	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機と投写面が直角になるように調整する。(13ページ参照)
映像が暗い	<ul style="list-style-type: none"> ● 画質メニューのブライトの調整をする。(24ページ参照) ● ランプを交換する。(28ページ参照)
映像がぼやける	<ul style="list-style-type: none"> ● フォーカスを合わせる。(12、20ページ参照) ● レンズをきれいに拭く。 ● 画質メニューのブライトおよびコントラストの調整をする。(24ページ参照) ● 本機と投写面が直角になるように調整する。(13ページ参照) ● レンズキャップをはずす。 ● ◀または▶ボタンを押してちらつきをなくす。
画面が焼き付く (残像がある)	<ul style="list-style-type: none"> ● 均一な明るい画面を表示し続けることにより緩和されます。(ゲーム画面などの静止画を長時間投写し続けると、画面の痕跡が残る「焼き付け現象」が発生する場合があります。)
映像に赤、青、緑などの 光る点が見える 映像に黒い点が見える	<ul style="list-style-type: none"> ● 液晶プロジェクター特有の現象です。故障ではありません。 (一部、常時点灯または常時不点灯の画素が存在する場合がありますが、故障ではありません。99.99%以上は有効な画素数です。)
映像に細かい縞模様 が見える	<ul style="list-style-type: none"> ● スクリーンとの干渉によるもので、故障ではありません。スクリーンを交換するか本機のフォーカスを少しずらしてみてください。
映像(および音声)が 乱れる	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部機器との接続ケーブルのプラグを接続端子の奥までしっかりと接続する。 ● 妨害電波を発信している機器から遠ざける。
色合いがおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ● 信号設定メニューのCOMPUTER入力の設定が正しく設定されているか確認する。(23ページ参照) ● 外部機器と接続しているケーブルが断線していないか確認する。
コンピュータの動画部分 だけが表示できない	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータの問題です。コンピュータメーカーにお問い合わせください。
映像がにじむ	<ul style="list-style-type: none"> ● コンピュータの出力解像度をプロジェクターの解像度に合わせる。(36ページ参照) コンピュータの出力解像度の変更については、コンピュータメーカーにお問い合わせください。 ● 台形補正を使用すると、映像によっては画像や文字がにじんで見ることがあります。 このような場合、台形補正を使用せずにお使いください。(14ページ参照)

その他

現象	確認/処置
排気口から温風が出る	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機内部を冷却して出てくる温風です。熱く感じることはありますが故障ではありません。
外部音声出力が出ない メニュー設定ができない	<ul style="list-style-type: none"> ● 音量設定が小さくなっていないか確認する。 ● ノイズなどの影響で、本機内部のマイコンが誤動作していることがあります。 →端子パネル上のリセットボタンを先のとがった物で押ししてリセットする。
画面上に「内部の温度が上昇 しています。吸排気口を ふさいでいませんか」が表示 (点滅)される	<ul style="list-style-type: none"> ● 周辺温度が高くなると表示されます。高温状態が続くと、光源ランプが消えます。 →周辺温度が高くなる原因を取り除く。 ● 吸気口、排気口をふさいでいると表示されることがあります。その状態を続けると光源ランプが消えます。 →吸気口、排気口をふさいでいるものを取り除く。フィルターの手入れをする。(27ページ参照)
Ⓞマークが表示される	<ul style="list-style-type: none"> ● 動作しない操作をおこなったとき(例：メニュー表示中に入力切換えしたとき)に表示されます。故障ではありません。
レーザーボタンを押しても レーザー光が照射されない	<ul style="list-style-type: none"> ● レーザーボタンを押しても、照射されない様に設定されている。(15ページ参照) →レーザーボタンを押しながら方向▲ボタンを3回押す。
リモコンが利かない・ 利きにくい	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコンに電池が入っていないか、または電池が消耗していないか確認する。(2、7ページ参照) ● リモコン受光部に直射日光や蛍光灯などの光が直接当たっていないか確認する(10ページ参照) ● リモコンの操作範囲から外れていませんか。(10ページ参照)
盗難警報装置の 警報音が止まらない	<ul style="list-style-type: none"> ● 同梱のセーフティピンをターミナルカバーのセーフティピン差込口に差し込む。(33ページ参照)

ランプ交換のあとで、以下の症状が出たときは、まず、次のことをお調べください。

現象	確認/処置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 裏面のランプカバーをきちんと取り付ける。 ● ランプ使用時間をリセットする。(29ページ参照)
LAMPインジケータが点滅する	<ul style="list-style-type: none"> ● ランプ使用時間をリセットする。(29ページ参照)

フィルター掃除のあとで、以下の症状が出たときは、まず、次のことをお調べください。

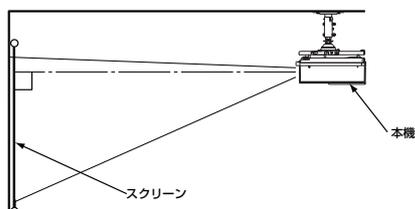
現象	確認/処置
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● 裏面のフィルターカバーをきちんと取り付ける。(27ページ参照)

設置工事を依頼するときは

天吊りして正面から映像を見る場合

天吊りにする場合は別売の専用天吊り金具(35ページ参照)を使用してください。また、設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

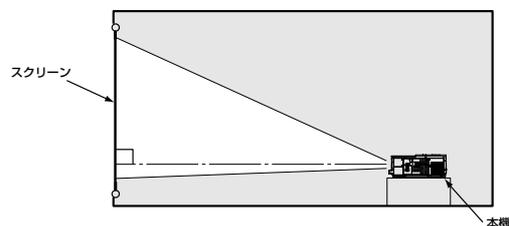
- 当社製以外の天吊り金具ならびに天吊り金具設置環境の不具合による製品の損傷等については保証期間中であっても当社は責任を負いかねますのでご注意ください。



- 天吊りの場合、設置メニューの反転表示を「上下左右」にしてください。くわしくは22ページをご覧ください。
- プレーカなどを設置するよう、工事業者に依頼してください。ご使用にならないときは、必ずプレーカなどで主電源を落としておいてください。
- 天吊りの場合、床置き時に比べて画面の明るさが暗くなることがありますが、故障ではありません。
- 排気口にエアコンなどの風が直接当たるような場所に設置しないでください。故障の原因になることがあります。
- 本体の排気口から温風が出ますので、火災報知器の近くに設置しないでください。

半透過性のスクリーンに投写し、裏側から映像を見る場合

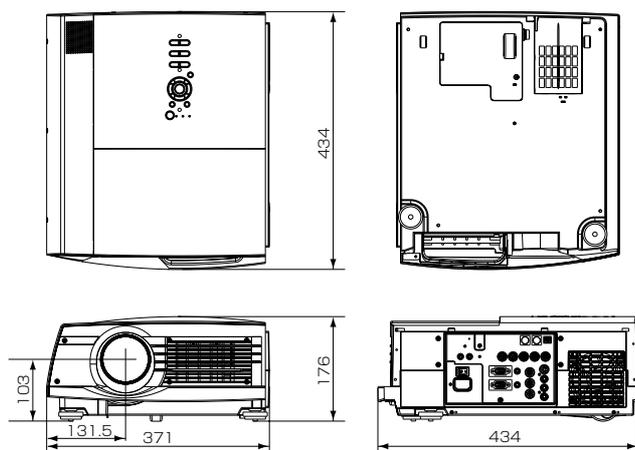
設置工事は必ず教育を受けた専門の工事業者に依頼してください。くわしくは三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。



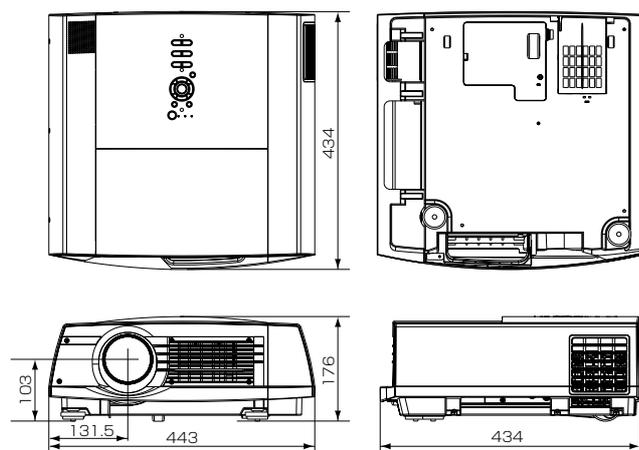
- 裏側から映像を見る場合、設置メニューの反転表示を「左右」にしてください。くわしくは22ページをご覧ください。

寸法図(参考)

単位はmm



ターミナルカバー装着時



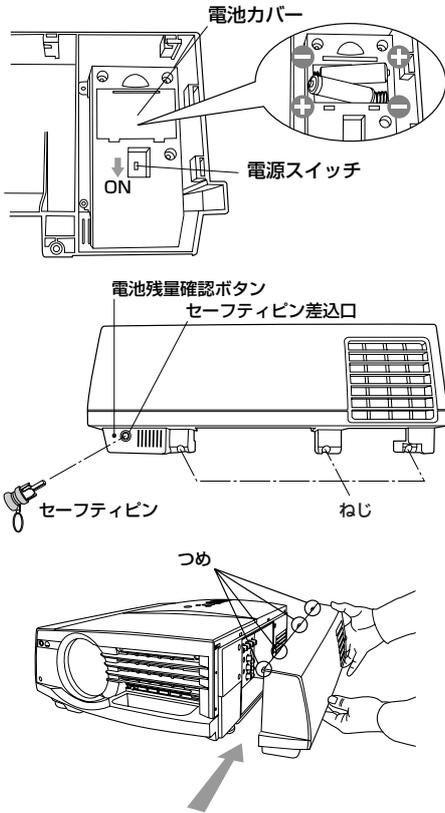
※レンズ位置センターは出荷時の値です。

ターミナルカバー(盗難警報装置付)について

本機には、盗難警報装置付きのターミナルカバーが付属されています。ターミナルカバー(盗難警報装置付)をプロジェクターに取り付けておくと、本体を動かしたときに発生する振動を盗難警報装置が検知し、警報音を発生します。

- 本製品を使用中に万一盗難等の被害が発生しても、当社は一切保証致しません。

盗難警報装置のセットのしかた



盗難警報装置に乾電池を入れる

1. 盗難警報装置の電池カバーのふたを開ける
2. 乾電池の(+), (-)をよく確かめて、(-)側から正しく入れる。
 - 乾電池を(+)側から入れると、(-)側へ入れるときにコイルバネ端子が乾電池の側面に当たり、入れにくくなります。このような状態で無理に入れると乾電池の外装ラベルが破れて、ショートして発熱する恐れがあります。
 - 乾電池の取り扱いについては7ページを参照してください。
3. 電池カバーのふたを閉める
4. 同梱のセーフティピンをセーフティピン差込口に差し込む
 - セーフティピンを差し込まないと、取り扱いなどの振動、衝撃で警報がなることがあります。
5. 電源スイッチをON側にする

ターミナルカバーを取り付ける

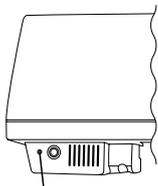
1. ターミナルカバーのつまみ4カ所を本体側面部の穴に差し込む
2. 後面方向にターミナルカバーをスライドさせる
3. ターミナルカバーを固定しているねじ3カ所を締め、取り付ける
4. 本機を所定の位置に取り付ける
5. 電池残量確認ボタンを押してブザーがなることを確認する
6. セーフティピンを抜く
盗難警報装置が待機状態となります。
 - 「警報装置作動中」ラベルが同梱されています。見やすい場所に貼り付けることをお勧めします。
 - 一時的に警報を停止させたい場合はセーフティピンを差し込みます。
 - 電源スイッチをONにしてから数秒間は、振動を与えても警報音はなりません。
 - セーフティピンを抜いてから数秒間は振動を与えても警報音はなりません。
 - 地震などの振動、衝撃で警報音がなる場合があります。この場合は、セーフティピンを差し込むことにより警報音は止まります。
 - 輸送時などは、電池がはずれることがありますので電池を抜いてください

乾電池の交換のしかた

乾電池の残量確認について

電池残量確認ボタンを先のとがったもので押します。

- 押している間ブザーがなります。ブザーがならない時は、乾電池を交換してください。
- 長時間ブザーをならすと、乾電池が消耗します。



電池残量確認ボタン

乾電池を交換する

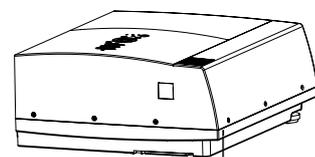
1. セーフティピンをセーフティピン差込口に差し込む
2. ターミナルカバーを固定しているねじ3カ所をゆるめる
3. 前面方向にターミナルカバーをスライドさせる
4. ターミナルカバーを手前に引き、はずす
 - ターミナルカバー内に異物が入り込んでいる可能性がありますので、注意して本体から取りはずしてください。
 - ターミナルカバー内にちり等がたまっている場合は、電池交換時に清掃することをお勧めします。
5. 電池カバーのふたを開け、古い乾電池を取りはずす
6. 新しい乾電池の(+)(-)をよく確かめて、(-)側から正しく入れる
 - 乾電池は、アルカリ単三乾電池をお使いください。
 - 乾電池の寿命の目安は約6カ月です(アルカリ乾電池使用時)。定期的に電池残量の確認を行い乾電池を交換願います。
7. 電池カバーのふたを閉める

こんな機能もあります

盗難防止用ロックについて

盗難防止用ロックは、Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総販売代理店の連絡先は、以下の通りです。

日本ポラデジタル株式会社
104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目5番2号 はごろもビル
TEL : 03-3537-1070
FAX : 03-3537-1071



盗難防止用ロック穴

その他

ターミナルカバー(盗難警報装置付)について
設置工事を依頼するときは

索引

ア行

アフターサービス	37
色合い	22、25
色温度	22、25
色の濃さ	22、25
オートパワーオフ	22
オートパワーオン	22
オプションメニュー	23
温度インジケータ	8、27、29、30、裏表紙

カ行

拡大モード	17、23
画質メニュー	22、24
画面拡大	17
カラーマトリクス	22、24
ガンマモード	22
クランプ位置	23、26
クランプ幅	23、26
言語選択	23
コントラスト	22、24
コンピュータとの接続	11
コンピュータとの接続 (マウスリモコン)	16

サ行

上部曲がり補正	23、26
シャープネス	22、25
仕様	35
詳細設定メニュー	23
信号設定メニュー	23
信号判別	23
スクイーズ	23
セーフティピン	33
接続	
コンピュータ	11
コンピュータ (マウスリモコン)	16
ビデオ機器	19
DVDプレーヤー	19
MUSE デコーダ	19
接続できる信号の種類	36
設置メニュー	22

タ行

台形補正	14
電池の入れかた	2
投写位置	13
投写角度の調整	14
盗難警報装置	33

ハ行

バックカラー	22
反転表示	22
ビデオ機器との接続	19
表示位置	17、18、23
ピントの調整	13、20
フィルター	2、27
フィルターカバー	27
フォーカス調整	13、20
付属品	2
ブライト	22、24
分周比	23、26
別売品	35

マ行

マウスリモコン	15
ミュートボタン	8、9、16
ミュートモード	16、22
メニュー位置	23
メニュー設定のしかた	21

ラ行

ランプカバー	28
ランプの交換	28
ランプモード	22
リセットボタン	8、21、31
リモコン受光部	10
レンズシフト	13、20、22

A

AUTO POSITION ボタン	8、9、13
AV ミュート	16

C

COMPUTER INPUT 端子	8、11、19
COMPUTER ボタン	8、9、12

D

DVD プレーヤーとの接続	19
---------------------	----

E

ENTER ボタン	21
EXPAND ボタン	17

K

KEYSTONE ボタン	14
--------------------	----

L

LAMP インジケータ	8、12、14、20、28、30、31、裏表紙
----------------------	-------------------------

M

MENU ボタン	8、9、21
----------------	--------

P

PinP ボタン	9、18
POWER(電源)インジケータ	8、12、20、30、裏表紙

R

RS-232C 端子	8、16
------------------	------

S

SCART 入力	23
SHUTTER(L)	23、26
SHUTTER(LS)	23、26
SHUTTER(RS)	23、26
SHUTTER(U)	23、26
sRGB	22、24
S-VIDEO IN 端子	8、19

T

TEMP(温度)インジケータ	8、27、29、30、裏表紙
-------------------------	----------------

V

VIDEO ボタン	8、9、20
VOLUME ボタン	8、9、13、20

数字

3D CineView	23
-------------------	----

仕様

(仕様および外観は改良のため予告無く変更することがあります。予めご了承ください。)

種類	液晶プロジェクター
形名	LVP-XL5950/LVP-XL5900
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	3.8A 380W
液晶パネル	3.3 cm 3枚(R,G,B各1枚) 総画素数:2,359,296 画素 画素数:1,024×768=786,432 画素 (有効画素率99.99%以上)
最大表示色	1,677万色(フルカラー表示)
投写レンズ	F1.8 ~ 2.1 f = 51 mm ~ 64 mm
光源ランプ	270W SHPランプ
投写画面	画面寸法 122 cm×91 cm ~ 610 cm×457 cm (4:3)
PC映像入力信号	解像度 640×400(拡大)~1024×768(リアル) + 1600×1200(圧縮)
ビデオ映像入力信号	NTSC / 4.43NTSC / PAL / SECAM / PAL-N / PAL-M / PAL-60自動判別
音声出力	5W モノラル
スピーカー	丸型(4Ω 5W)1個
S映像入力	輝度信号 Vp-p=1.0 V 75Ω(同期負極性) クロマ信号 Vp-p=0.286 V 75Ω(バースト信号) [S端子/2BNC(Y,C) 1系統]
映像入力	Vp-p=1.0 V 75Ω(同期負極性) [ピン端子/BNC 1系統]
音声入力	150mVrms 10 kΩ以上 [ステレオミニ端子(×1)/ピン端子(R,L) 2系統]
アナログRGB入力	RGB:Vp-p=0.7 V 75 Ω(同期負極性) YPbPr(YCbCr):Vp-p=1.0 V (Y) Vp-p=0.7 V PbPr(Cb, Cr) (同期負極性) HD/CS:TTLレベル(負または正極性) VD:TTLレベル(負または正極性) [ミニD-SUB 15P/5BNC 2系統]
制御端子	シリアル端子(8ピン): RS-232C規格 2系統 USB端子:マウス制御用 ステレオミニ端子(×2):ワイヤードリモコン制御用(入出力)
最大外形寸法	37.1 cm × 17.6 cm × 43.4 cm (幅×高さ×奥行き) [本体のみ] 44.3 cm × 17.6 cm × 43.4 cm (幅×高さ×奥行き) [ターミナルカバー装着時]
質量	約8.5 kg(本体のみ) 約9.0 kg(ターミナルカバー装着時)
電源コード	2.9 m
動作温度	+5 °C~+40°C
動作湿度	30 %~90 % (結露は除く)

「高調波ガイドライン適合品」

別売品

スクリーン	(型名SCR-A50P)	光源ランプ	(型名VLT-XL5950LP)
	(型名SCR-A60P)	天吊り金具	(型名 BR-XL5950)
	(型名SCR-A80P)	高天井用ポール	(型名BR-XL5950P)

端子について

RS-232C端子(8P)

PIN No.	名称	I/O
1	TXD	入力
2	-	-
3	DTR	入力*
4	GND	-
5	CTS / 5V	入出力*
6	DCD / CLOCK	出力*
7	RXD	出力
8	RI / DATA	出力*

* : RS-232C/MOUSE端子のみ

COMPUTER INPUT2/OUTPUT端子 (ミニD-SUB 15P)

PIN No.	仕様	PIN No.	仕様
1	R(RED)/Pr/Cr	9	-
2	G(GREEN)/Y	10	GND
3	B(BLUE)/Pb/Cb	11	GND
4	GND	12	DDC Data
5	GND	13	HD/CS
6	GND	14	VD
7	GND	15	DDC Clock
8	GND		

その他

索引仕様

仕様(つづき)

接続できる信号の種類

信号表示	解像度 (H x V)	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	通常表示 (H x V)	REAL表示 (水平 x 垂直)	
TV60	-	15.73	59.94	1024 x 768	-	*1
TV50	-	15.63	50.00	1024 x 768	-	*1
1080i	-	33.75	60.00	1024 x 576	-	
525p	-	31.47	59.94	1024 x 768	-	
625p	-	31.25	50.00	1024 x 768	-	
720p	-	45.00	60.00	1024 x 576	-	
PC98	640 x 400	24.82	56.42	1024 x 640	640 x 400	
CGA70	640 x 400	31.47	70.09	1024 x 640	640 x 400	
CGA84	640 x 400	37.86	84.14	1024 x 640	640 x 400	
CGA85	640 x 400	37.86	85.08	1024 x 640	640 x 400	
VGA60	640 x 480	31.47	59.94	1024 x 768	640 x 480	
VGA72	640 x 480	37.86	72.81	1024 x 768	640 x 480	
VGA75	640 x 480	37.50	75.00	1024 x 768	640 x 480	
VGA85	640 x 480	43.27	85.01	1024 x 768	640 x 480	
VGA120	640 x 480	61.89	120.17	1024 x 768	640 x 480	
SVGA56	800 x 600	35.16	56.25	1024 x 768	800 x 600	
SVGA60	800 x 600	37.88	60.32	1024 x 768	800 x 600	
SVGA72	800 x 600	48.08	72.19	1024 x 768	800 x 600	
SVGA75	800 x 600	46.88	75.00	1024 x 768	800 x 600	
SVGA85	800 x 600	53.67	85.06	1024 x 768	800 x 600	
SVGA95	800 x 600	59.97	94.89	1024 x 768	800 x 600	
SVGA120	800 x 600	77.11	119.93	1024 x 768	800 x 600	
XGA43i	1024 x 768	35.52	86.96	1024 x 768	-	*1
XGA60	1024 x 768	48.36	60.00	1024 x 768	1024 x 768	
XGA70	1024 x 768	56.48	70.07	1024 x 768	1024 x 768	
XGA75	1024 x 768	60.02	75.03	1024 x 768	1024 x 768	
XGA85	1024 x 768	68.68	85.00	1024 x 768	1024 x 768	
XGA120	1024 x 768	98.58	119.78	1024 x 768	1024 x 768	
SXGA70a	1152 x 864	63.85	70.01	1024 x 768	1024 x 768	
SXGA75a	1152 x 864	67.50	75.00	1024 x 768	1024 x 768	
SXGA85a	1152 x 864	77.49	85.06	1024 x 768	1024 x 768	
SXGA60b	1280 x 960	60.00	60.00	1024 x 768	1024 x 768	
SXGA75b	1280 x 960	75.00	75.00	1024 x 768	1024 x 768	
SXGA43i	1280 x 1024	46.43	86.87	1024 x 768	-	*1
SXGA60	1280 x 1024	63.98	60.02	1024 x 768	1024 x 768	
SXGA75	1280 x 1024	79.98	75.03	1024 x 768	1024 x 768	
SXGA85	1280 x 1024	91.15	85.02	1024 x 768	1024 x 768	
SXGA85b	1280 x 960	85.94	85.00	1024 x 768	1024 x 768	
MAC13	640 x 480	35.00	66.67	1024 x 768	640 x 480	
MAC16	832 x 624	49.72	74.55	1024 x 768	832 x 624	
MAC19	1024 x 768	60.24	75.03	1024 x 768	1024 x 768	
MAC21	1152 x 870	68.59	74.96	1024 x 768	1024 x 768	
HP75	1024 x 768	62.94	74.92	1024 x 768	1024 x 768	
HP72	1280 x 1024	78.13	72.00	1024 x 768	1024 x 768	
SUN66a	1152 x 900	61.85	66.00	1024 x 768	1024 x 768	
SUN76a	1152 x 900	71.81	76.64	1024 x 768	1024 x 768	
SUN66	1280 x 1024	71.68	66.68	1024 x 768	1024 x 768	
SUN76	1280 x 1024	81.13	76.11	1024 x 768	1024 x 768	
SGI72	1280 x 1024	76.92	72.30	1024 x 768	1024 x 768	
SGI76	1280 x 1024	82.01	76.00	1024 x 768	1024 x 768	
IBM60	1280 x 1024	63.42	60.00	1024 x 768	1024 x 768	
UXGA60	1600 x 1200	75.00	60.00	1024 x 768	-	*1

*1: 拡大表示またはPinPは、はたらきません。

● 本機の最大解像度は1024×768ドットです。これ以上の解像度の場合は、本来の解像度は得られません。

● SYNC ON G対応の信号は、映像が緑っぽくなることがあります。(このとき、詳細設定メニューのクランプ位置またはクランプ幅を調整してください。)

● SYNC ON G対応の信号は、画面が少し揺れることがあります。

● 表に載っていない解像度と周波数のときは接続するコンピュータの解像度を変更することにより、対応できる解像度と周波数に変更できる場合があります。

● 1080iはハイビジョン信号を表します。

● ハイビジョン信号などをRGB信号で入力するときは信号設定メニューのCOMPUTER入力の設定をRGBにしてください。

● ハイビジョン信号を表示しているとき、インターレス信号の構造上、画質が劣化します。

REAL表示について

投写画面上にモアレが発生したり、または投写画面上の線の太さがばらつくときは、入力信号そのままの大きさで表示(REAL表示)することにより、見やすくなる場合があります。REAL表示にするためには、あらかじめ、オプションメニューの拡大モードの設定を4にしておく必要があります。(設定のしかたについては、17ページ参照。)

リモコンのEXPANDボタンを押すと、REAL表示になります。もういちどEXPANDボタンを押すと、通常画面にもどります。

● REAL表示中は拡大率の変更および拡大させる範囲の変更はできません。

保証とアフターサービス

■保証書(別添付)

- 保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

保証期間

お買上げ日から1年間です
但し、光源ランプは3ヶ月以内で200時間まで

- ランプ使用時間の確認方法
主電源を入れた状態で、本体のAUTO POSITIONボタンおよび▲、▼ボタンを同時に押したとき、LAMPインジケータが約5秒間、緑色に点灯すれば、ランプ使用時間は200時間以内です。(ランプ使用中は点灯しません。)

■補修用性能部品の最低保有期間

- 当社は、液晶プロジェクターの補修用性能部品を、製造打切り後最低8年間保有しています。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- 液晶パネル、偏光板などの光学部品、および冷却ファンは寿命部品です。長時間業務用途に使う場合は修理・交換が必要になります。このような場合は三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

- 三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

■修理を依頼されるときは

- ◎「故障かな?と思ったときは」の手順にしたがって、お調べください。
- なお、不具合があるときは、電源を切ったあと、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。
- ◎保証期間中は
修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定にしたがって、三菱電機テクニカルサポートセンターが修理させていただきます。
- ◎保証期間が過ぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
- ◎修理料金は
技術料+部品代(+出張料)などで構成されています。

◎ご連絡いただきたい内容

1. 品名 三菱液晶プロジェクター
2. 形名 LVP-XL5950/LVP-XL5900
3. お買上げ日 年月日
4. 故障の状況 (できるだけ具体的に)
5. ご住所 (付近の目印なども)
6. お名前・電話番号・訪問希望日

三菱電機

テクニカルサポートセンターのご案内

テクニカルサポートセンター

修理、取り扱いのご相談、技術的なお問合わせは

全国どこからでもおかけいただける

三菱電機テクニカルサポートセンター

 **0120-32-7440** (無料)

Tel:075-325-4488

(携帯電話、PHSでお問い合わせの場合)

受付時間/AM9:00~PM9:00
(弊社指定祝日除く)

FAX 075-325-4195

E-mail pep-m@fuso.co.jp

この製品に関する詳細情報や応用例などを、WWWサーバでもご提供しています。

www.MitsubishiElectric.co.jp/projector/business

ご相談窓口

購入・買替えのご相談、お問合わせは

三菱電機お客さま相談センター

〒154-0001 東京都世田谷区池尻 3-10-3

受付時間
365日
24時間

■全国どこからでも おかけいただけるフリーコール

 **0120-139-365** (無料)
いつもサンキュー 365日

■通常電話番号(携帯電話対応) **03-3414-9655**

■FAX番号 **03-3413-4049**

- 所在地、電話番号などについては変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

その他

保証とアフターサービス
仕様

インジケータの見かた

本機には、内部の状態を知らせるインジケータが3つあります。インジケータの光りかたで、どのような状態かを知ることができます。次のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、三菱電機テクニカルサポートセンターにご連絡ください。

正常時

POWER	LAMP	TEMP	状態	備考
● 赤点灯	○ 消灯	○ 消灯	電源スタンバイ状態	
● 緑点灯	○● 緑点滅	○ 消灯	ランプスタンバイ状態	電源「切」の操作はできません。
	● 緑点灯	○ 消灯	電源「入」(通常時)	

異常時

POWER	LAMP	TEMP	状態	処置
● 緑点灯 ● 赤点灯	● 緑点灯 ↓ ○ 消灯	○● 赤点滅 ○● 赤点滅	本機内部が高温になっている ・吸気口または排気口をふさいでいる。 ・暖房の吹出し口など高温になる場所で使用している。 ・フィルターが汚れている。	・ふさいでいる物をとる。 ・設置場所を変える。 ・フィルターの手入れをする。
● 赤点灯	○● 緑点滅	○ 消灯	保護回路がはたらいている または ランプが異常	・LAMPインジケータの緑点滅が消えてから電源ボタンを押す 上記の操作を数回おこなっても、光源ランプが点灯しないときは、光源ランプを交換してください。光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターへご依頼ください。
● 緑点灯 ● 赤点灯	○● 赤/緑点滅 ○● 赤点滅 ● 赤点灯	○ 消灯	ランプ交換表示(通算約1000時間*使用・電源が「入」のとき) ランプ交換表示(通算約1000時間*使用・電源が「切」のとき) ランプ交換表示(通算約1500時間*使用)	光源ランプを交換してください。 光源ランプのご購入は、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターへご依頼ください。
○● 赤/緑点滅	○ 消灯	○ 消灯	ランプカバーまたはフィルターカバーが開いている	ランプカバーまたはフィルターカバーを閉じる
	● 点灯 または ○● 点滅	● 点灯 または ○● 点滅	故障	電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または三菱電機テクニカルサポートセンターにご相談ください。

*) ランプモードを「標準」にした場合の時間です。「低」にした場合、時間が長くなります。

● ご購入店などをメモしておきますとあとで役に立ちます。

購入年月日

購入店名(住所)

電話番号

この液晶プロジェクターの形名はLVP-XL5950、LVP-XL5900です。

愛情点検

● 長年ご使用の場合は点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。



このような
症状は
ありませんか

- 電源コード、電源プラグが異常に熱い。
- コゲくさい臭いがする。
- 製品に触れるとビリビリと電気を感じる。
- 電源スイッチを入れても映像がでない。
- 映像が乱れたり、画面が異常にかけたりする。
- その他の異常・故障がある。

ご使用
中 止

故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして、必ず販売店にご相談ください。

液晶プロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。



三菱電機株式会社